

Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0

ユーザースガイド

メモ、注意、警告

① **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Copyright © 2009 - 2017 Dell Inc. or its subsidiaries. All rights reserved. Dell, EMC, およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次

1 はじめに.....	6
本書で使用される用語.....	6
本リリースの新機能.....	7
Dell EMC Server Management Pack Suite の主要機能.....	8
2 Dell EMC Server Management Pack Suite の概要.....	9
3 サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能.....	10
拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較.....	10
検出とグループ化.....	11
OpsMgr での Dell サーバーの検出.....	11
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能による検出.....	11
監視.....	12
監視対象ハードウェアコンポーネント.....	12
ビュー.....	14
ユニット監視.....	20
ルール.....	25
タスク.....	26
タスクサマリ.....	27
Dell タスクの実行.....	27
Dell Windows サーバータスク.....	28
レポート.....	32
レポートへのアクセス.....	32
OpenManage Windows イベントログレポートの生成.....	32
BIOS 設定レポートの生成.....	33
ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成.....	33
RAID 設定レポートの生成.....	33
4 サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能.....	34
WS-MAN を使用した iDRAC またはホスト OS からの iDRAC アクセス.....	34
拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較.....	35
検出とグループ化.....	35
監視.....	37
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能のための Dell ユニット監視.....	47
ルール.....	51
タスク.....	51
WMI を使用した iSM.....	54
拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較.....	54
検出とグループ化.....	55
監視.....	57

サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (iSM) 機能のための Dell ユニット監視.....	66
ルール.....	70
タスク.....	70
5 DRAC 監視機能.....	74
検出とグループ化.....	74
DRAC デバイスの検出.....	74
DRAC 監視機能による検出.....	75
監視.....	75
ビュー.....	76
アラートビュー.....	76
OpsMgr コンソールでのアラートの表示.....	76
ダイアグラムビュー.....	76
状態ビュー.....	77
DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視	77
ルール.....	78
Dell システムイベント処理のルール.....	78
DRAC デバイス.....	78
タスク.....	79
タスクサマリ.....	79
DRAC を使用したタスクの実行.....	79
Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク.....	79
6 シャーシ監視機能	82
検出とグループ化.....	82
シャーシデバイスの検出.....	82
シャーシ監視機能による検出.....	83
監視.....	83
監視対象ハードウェアコンポーネント.....	83
ビュー.....	84
アラートビュー.....	85
ダイアグラムビュー.....	85
パフォーマンスおよび電源監視ビュー.....	87
状況ビュー.....	87
シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視	87
ルール.....	89
Dell システムイベント処理のルール.....	89
シャーシデバイス.....	89
パフォーマンスコレクションルール.....	89
タスク.....	90
タスクサマリ.....	90
Dell シャーシを使用したタスクの実行.....	90
Dell シャーシタスク.....	91

7 シャーシモジュラーサーバー関連機能	92
シャーシモジュラーサーバー関連機能による検出.....	92
8 Feature Management Dashboard	93
Dell Feature Management パックによる検出.....	93
タスク.....	93
機能管理タスク.....	93
9 Dell EMC Server Management Pack Suite のライセンス	97
10 関連文書とリソース	98
Operations Manager のためのパフォーマンスと拡張性に関するマイクロソフトガイドライン.....	98
その他の必要マニュアル.....	98
デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	99
デルへのお問い合わせ.....	99
11 付録 A - 問題とその解決	100
問題と解決策	100
既知の制限	103
12 付録 B	104
シンプル認証 Run As アカウントの作成.....	104
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)機能を使用した Dell サーバー監視のための Run As アカウントの関連付け.....	104
重要度レベルのインジケータ.....	105
Run As アカウントの関連付けタスク — サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能.....	105
13 付録 C - 外部プログラムの有効化タスク	106
アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成.....	106
License Manager 起動タスクの作成.....	107

はじめに

本書は、Microsoft System Center Operations Manager 用 Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 で実行可能な操作について説明します。

Microsoft System Center 2016 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、または Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 と Dell EMC Server Management Pack Suite とが統合された環境では、必要な Dell デバイスを管理および監視し、またその可用性を確保することが可能になります。

△ 注意: データの破損、データの損失、またはその両方を防ぐには、このマニュアルの手順を実行してください。ただし、Microsoft Windows のオペレーティングシステム、および Microsoft System Center 2016 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 の適切な使用知識と経験がある場合に限りです。

① メモ: Dell EMC Server Management Pack Suite のリリースノートをお読みください。これには、既知の問題に関する情報のほか、ソフトウェアおよび管理サーバの要件に関する最新の情報が掲載されています。リリースノートは、Systems Management documentation(システム管理マニュアル) ページ (Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement) に掲載されています。リリースノートは、自己解凍形式ファイル `Dell_EMG_Server_Management_Pack_Suite_v7.0_Axx.exe` にもパッケージされています (xx は Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 のリリース番号)。

Microsoft System Center Operations Manager 用 Dell EMC Server Management Pack Suite のこのバージョンをインストールする前に、Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement または Dell.com/openmanagemanuals から最新マニュアルをダウンロードしてください。

トピック :

- 本書で使用される用語
- 本リリースの新機能
- [Dell EMC Server Management Pack Suite の主要機能](#)

本書で使用される用語

表 1. 本書で使用される用語

用語	意味
OpsMgr	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2016 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2。
OpsMgr 2016	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2016 Operations Manager。
OpsMgr 2012	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、および Microsoft System Center 2012 Operations Manager。

用語	意味
Dell Remote Access Controller (DRAC)	特に指定のない限り、Dell サーバー、Dell ブランドの OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバーの DRAC。
Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC)	特に指定のない限り、Dell サーバー、Dell ブランドの OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバーの iDRAC。
シャーシ	特に指定のない限り、Chassis Management Controller (CMC)。
サーバ	特に指定のない限り、PowerEdge サーバ、PowerVault モニリックサーバとモジュラーサーバ、サポート対象のラック型ワークステーション、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバ。
iDRAC サービスモジュール (iSM)	iDRAC Service Module とは、サーバで動作し、OS からの情報を監視することで iDRAC を補完する、軽量ソフトウェアのこと。サービスモジュールは、それ自体の新しいインタフェースを公開する代わりに、ユーザーが iDRAC コンソールを使用して作業できるよう追加されるデータで iDRAC を補完。iSM とそのサポート対象のプラットフォームの詳細については、 Dell.com/support の『iDRAC Service Module Installation Guide (iDRAC Service Module インストールガイド)』を参照してください。
サーバ (iSM)	iSM 経由で SCOM エージェントを使用して検出される PowerEdge サーバと Precision ラック型ワークステーション。
サーバおよびラック型ワークステーションの監視	特に指定のない限り、PowerEdge サーバ、PowerVault モニリックサーバとモジュラーサーバ、サポート対象のラック型ワークステーション、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバ。これはライセンス不要な機能です。
サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス 対象)	特に指定のない限り、PowerEdge サーバ、PowerVault モニリックサーバとモジュラーサーバ、サポート対象のラック型ワークステーション、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバ。これはライセンスベースの機能です。

本リリースの新機能

Dell EMC Server Management Pack Suite の 7.0 リリースには、次が含まれています。

- Dell Server Management Pack Suite のブランド変更により、Dell Server Management Pack Suite は Dell EMC Server Management Pack Suite に変更
- 第 14 世代 PowerEdge サーバのサポート
- Windows Management Instrumentation (WMI) を使用した iDRAC Service Module (iSM) による、Dell サーバの詳細な監視のサポート
- 第 14 世代 PowerEdge サーバでの、次に示す iDRAC 機能のサポート
 - システム構成ロックダウンモード機能
 - iDRAC グループマネージャ機能
 - サーバポートの接続情報
 - iDRAC による障害発生 CMC の検出
- Dell Chassis Management Controller でのシャーシ監視機能の検出結果に対する「Chassis Power Consumption Performance View(シャーシ電力消費パフォーマンスビュー)」の追加
- WS-MAN で検出された Dell サーバの Dell デバイスイベントを自動的に解決するイベントの自動解決機能の追加
- サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス 対象) 機能で検出された Dell サーバの容量計画機能の追加
- すべての監視機能について Dell デバイスとそれに対応するインタフェースへ到達可能か到達不能かを確認する、ノードインタフェースのチェックタスクの追加

Dell EMC Server Management Pack Suite の主要機能

本バージョンの Dell EMC Server Management Pack Suite は、Dell デバイスを管理するために次の機能を提供します。

表 2. 機能と機能性

機能	機能性
検出と監視 - サーバおよびラック型ワークステーション	サポート対象 OpenManage Server Administrator (OMSA) を使用して、サポート対象 Windows オペレーティングシステムを実行する PowerEdge サーバ、PowerVault モニタリングおよびモジュラーシステム、Dell OEM Ready サーバ、およびサポート対象 Dell Precision ラックの検出と監視をサポートします。
ライセンスベースの検出と監視 - サーバおよびラック型ワークステーション(ライセンス対象)	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 12、13、および 14 世代の PowerEdge サーバ、PowerVault システム、サポート対象 Dell Precision ラック、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバの、ライセンスベースの検出と監視。 <ul style="list-style-type: none"> WS-MAN を使用した iDRAC ホスト OS を介した iDRAC アクセス Windows Management Instrumentation (WMI) を使用した iSM iDRAC を使用した、第 12、13、および 14 世代の PowerEdge サーバ、PowerVault システム、サポート対象 Dell Precision ラック、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバの検出と監視。 iSM を使用した、第 12、13、および 14 世代の PowerEdge サーバの検出と監視。サポート対象サーバの完全なリストについては、Dell.com/manuals で『iDRAC サービスモジュールインストールガイド』の「Supported platforms (サポート対象プラットフォーム)」を参照してください。 サーバおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象) 機能で WS-MAN によって検出されたデバイスの SNMP トラップ。
検出と監視 — シェア管理	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> シェアおよび Dell OEM Ready シェアデバイスの検出と監視。 CMC シェアのサーバーモジュールとシャーシロットサマリの検出。 シェアデバイスの SNMP トラップ。
検出と監視 — Dell Remote Access Controller (DRAC)	<p>次をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応する iDRAC デバイスの検出と監視 - 第 12 世代と第 13 世代のみ。 DRAC デバイスの SNMP および PET トラップ。

Dell EMC Server Management Pack Suite の概要

OpsMgr 向け Dell EMC Server Management Pack Suite では、次を行うことができます。

- 次の Dell デバイスを検出して分類します。
 - Dell サーバ - ライセンス不要の監視とライセンスベースの監視を使用
 - Dell Remote Access Controller
 - Dell シャーシ - PowerEdge FX2/FX2s、PowerEdge VRTX、PowerEdge M1000e、および Dell OEM Ready シャーシ
 - サポートされる Dell Precision ラック
- 要件に基づいて、OMSA、iDRAC、または iSM で検出した Dell デバイスを監視します。
- アラートを表示、分析し、技術情報 (KB) 記事を使用して解決します。
- 検出した Dell デバイスで、さまざまなタスクを実行します。
- 検出した Dell デバイスのレポートを表示します。

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能は、OpenManage Server Administrator (OMSA) を使用して、サポート対象の Windows OS と共にインストールされている、次のデバイスの検出および監視をサポートしています。

- PowerEdge モジュラーおよびモリシックサーバ
- PowerVault ストレージサーバ
- Dell OEM Ready サーバー
- Dell Precision ラック

これらのデバイスのインベントリと監視は、サーバの OpenManage Server Administrator (OMSA) から実行できます。OMSA はライセンス不要の監視機能です。

サポートされている OMSA バージョンの詳細については、『Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.0 for Microsoft System Center Operations Manager Release Notes (Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 リリースノート)』を参照してください。

Dell EMC Server Management Pack Suite インストーラは、サーバーおよびラック型ワークステーションの監視の拡張可能機能を、OpsMgr に自動でインポートします。

トピック：

- [拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較](#)
- [検出とグループ化](#)
- [監視](#)
- [タスク](#)
- [レポート](#)

拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較

次の表は、拡張可能エディション機能と詳細エディションを使用できる環境を把握するのに役立ちます。

表 3. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能	<ul style="list-style-type: none"> • コンポーネントグループのインベントリおよび監視。iDRAC の有無も表示されます。 • レポート - OpenManage Windows イベント ログレポートのみが使用可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> • 個々のコンポーネントの詳細インベントリおよび正常性監視を行います。 • メモリ、プロセッサ、ネットワークインタフェース、センサー、ストレージコントローラ、ディスク、および仮想ディスクのメトリックスを表示します。また、BIOS 情報も表示されます。 • レポート - BIOS 設定、ファームウェアとドライババージョン、および RAID 設定レポートの可用性。

検出とグループ化

Dell EMC Server Management Pack Suite により、Dell サーバ（モリシック、モジュール、スレド）およびサポート対象 Dell Precision ラックの検出と分類ができます。次の表は、ハードウェア検出とグループ化の詳細の一覧です。

表 4. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell サーバ	Dell モリシックサーバ Dell モジュールサーバ Dell Sled サーバ	PowerEdge システム PowerVault ストレージサーバ
Dell ラック型ワークステーション	ラック型ワークステーションダイアグラム	Dell Precision ラック

OpsMgr での Dell サーバの検出

Dell サーバは、OpsMgr エージェント管理インフラストラクチャを介して検出されます。

① **メモ:** Dell サーバは、OpsMgr コンソールの **管理** セクションにある **エージェント管理対象ビュー** で検出します。

Dell サーバを検出するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr 管理者として管理サーバにログオンします。
- 2 OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
- 3 ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
- 4 **検出ウィザード** を実行し、**Windows コンピュータ** を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。

① **メモ:** インストーラは、ライセンス不要の監視機能管理パックを OpsMgr に自動的にインポートします。インストーラが管理パックのインストールに失敗した場合は、OpsMgr の管理パックのインポートウィザード、または Feature Management Dashboard を使用して管理パックをインポートしてください。

① **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) がインストールされていない、または非対応の OMSA バージョンを実行している Dell サーバを、Dell 管理対象外デバイスとしてグループ化します。

サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能による検出

表 5. サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能の検出

検出	説明
Dell サーバ検出	Dell サーバを分類し、属性データを投入します。
Dell サーバネットワークインタフェース検出	ネットワークインタフェースを Dell サーバのグループレベルで検出します。

検出	説明
Dell サーバーハードウェアコンポーネント検出	グループレベルのハードウェアコンポーネント（センサー、プロセッサ、メモリ、および電源装置）を検出します。
Dell OpenManage Software サービス検出	OpenManage Server Administrator Windows サービスのオブジェクトを検出します。
Dell サーバー BIOS 詳細検出	各 Dell サーバーの BIOS オブジェクトを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell サーバーメモリ詳細検出	Dell サーバーのメモリインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell サーバー電源装置詳細検出	Dell サーバーの電源装置インスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell サーバープロセッサ詳細検出	Dell サーバーのプロセッサインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell サーバーストレージ詳細検出	Dell サーバーの完全なストレージ階層を検出します（詳細エディションのみ）。
Dell Windows サーバーのセンサー詳細検出	Dell サーバーのセンサーインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェース詳細検出モジュール	Dell サーバーの物理およびチームングされたネットワークインタフェースインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェースグループ検出モジュール	ネットワークインタフェースグループを検出します。
Dell ラック型ワークステーショングループ検出	Dell ラック型ワークステーショングループを検出します。
Dell 管理対象外サーバーグループ検出	Dell 機器がない、サポートされていない OMSA バージョンである、または必要なバージョンより前のバージョンの機器があるのいずれかが原因で監視されていない Dell サーバーを検出します。

監視

OpsMgr の **Monitoring（監視）** ペインは、検出された Dell サーバの完全な正常性情報を表示するビューを選択するために使用されます。[重要度レベルのインジケータ](#)は、ネットワーク上の Dell サーバの正常性を示すのに役立ちます。

これには、一定間隔およびイベント発生時の両方に対するモジュラーサーバ、モニタリングサーバ、およびサポート対象の Dell Precision ラックとそのコンポーネントの正常性の監視が含まれます。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 6. 監視対象ハードウェアコンポーネント — 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
iDRAC	有	有
メモリ	有	有
ネットワークインタフェースグループ	有	有
OpenManage Software サービス	有	有
電源装置	有	有
プロセッサ	有	有
ストレージ	有	有
ストレージコントローラ	有	有
センサー	有	有
物理ネットワークインタフェースのインスタンス	無	有
BIOS 設定のインスタンス	無	無
バッテリーセンサー	無	有
バッテリーセンサーグループ	無	有
電流センサー	無	有
電流センサーグループ	無	有
シャーシントレージョンセンサー	無	有
ファンセンサー	無	有
ファンセンサーグループ	無	有
メモリユニットインスタンス	無	有
ネットワークインタフェース物理グループ	無	有
ネットワークインタフェースチーミンググループ	無	有
プロセッサユニットのインスタンス	無	有
電源装置ユニットのインスタンス	無	有
ストレージコントローラ物理ディスクのインスタンス	無	有
ストレージコネクタ物理ディスクグループ	無	有

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
ストレージコントローラコネクタのインスタンス	無	有
ストレージコントローラエンクロージャのインスタンス	無	有
ストレージコントローラセンサー	無	有
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	無	有
ストレージエンクロージャ EMM インスタンス	無	有
ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ	無	有
ストレージエンクロージャ電源装置グループ	無	有
ストレージエンクロージャセンサー	無	有
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス	無	有
電圧センサー	無	有
電圧センサーグループ	無	有

ビュー

Dell EMC Server Management Pack Suite は、OpsMgr コンソールの **Monitoring (監視)** > **Dell** で、監視用に次のタイプのビューを提供します。

- アラートビュー
- ダイアグラムビュー
- パフォーマンスおよび電源監視ビュー
- 状態ビュー

アラートビュー

このビューは、サーバおよびラック型ワークステーションからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。次のアラートが表示されません。

- Dell サーバおよびラック型ワークステーション用の OpenManage Server Administrator から受信したイベントのアラート。

メモ: 情報アラートはデフォルトでオフになっています。情報アラートを有効にするには、Feature Management Dashboard 上で、サーバおよびラックの監視機能の **Set Informational Alerts On (情報アラートをオンに設定)** タスクを実行します。

- Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受信したイベントのアラートをリンクアップおよびリンクダウンします。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでアラートを表示するには、次の手順を実行します。

- OpsMgr コンソールを起動して、**Monitoring (監視)** > **Dell** > **Alerts Views (アラートビュー)** の順にクリックします。次のアラートが表示されます。

- **Network Interface Alerts (ネットワークインタフェースアラート)** - 検出された NIC からのリンクアップアラートおよびリンクダウンアラートが表示されます。
 - **Server and Rack Workstation Alerts (サーバおよびラック型ワークステーションアラート)** - Dell サーバおよびラック型ワークステーションからの OMSA アラートが表示されます。
 - **Dell ラック型ワークステーションのアラートビュー**
 - **Network Interface Alerts (ネットワークインタフェースアラート)** - アラート - 検出された NIC からのリンクアップアラートおよびリンクダウンアラートが表示されます。
 - **Rack Workstation Alerts (ラック型ワークステーションアラート)** - ラック型ワークステーションからの OMSA アラートが表示されます。
- 2 任意の **アラートビュー** を選択します。
各 **Alerts Views (アラートビュー)** の右ペインに、ユーザー指定の条件 (アラートの重要度、解決状態など) を満たすアラートや、ユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
 - 3 **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、ネットワーク上のすべての Dell サーバおよび対応ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムビューの表示

OpsMgr コンソールでダイアグラムビューを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**監視 > Dell > ダイアグラムビュー** とクリックします。
- 2 次のビューの **ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - **Dell ラック型ワークステーションダイアグラムビュー**
 - [ラック型ワークステーションダイアグラム](#)
 - **Dell サーバダイアグラムビュー**
 - [モジュラーシステムダイアグラム](#)
 - [モノリシックサーバダイアグラム](#)
 - [Sled サーバダイアグラム](#)
- 3 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell サーバまたはラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。
- 4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

完全ダイアグラムビュー

Complete Diagram View (完全ダイアグラムビュー) には、OpsMgr が監視するすべての Dell デバイスが、図により表示されます。このダイアグラムでは、個々のデバイスとそのコンポーネントのステータスを展開して確認することができます。次の詳細を表示できます。

- モジュラーおよびモノリシックサーバ
- Sled グループ
- ラック型ワークステーション
- Chassis Management Controller
- Remote Access Controller
- Dell 管理対象外システム

ラック型ワークステーションダイアグラム

Dell ラックワークステーションダイアグラムビュー には、すべての対応ラック型ワークステーションの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスおよびコンポーネントを展開してステータスを確認することができます。ダイアグラムのラックワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインにその詳細を表示してください。

モジュラーおよびモノリシックシステム

モジュラーシステムダイアグラム および **モノリシックサーバーダイアグラム** ビューには、次の詳細情報が表示されます。

- 物理インターフェースおよびチーミングされたネットワークインターフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage ソフトウェアサービス
- ストレージコンポーネント
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC

モジュラーシステムダイアグラム

Modular Systems Diagram (モジュラーシステムダイアグラム) ビューには、すべての Dell モジュラーシステムが、図により表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

モノリシックサーバーダイアグラム

Monolithic Servers Diagram (モノリシックサーバダイアグラム) ビューには、すべてのモノリシックシステムが、図により表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Sled サーバーダイアグラム

Sled Servers Diagram (Sled サーバダイアグラム) ビューには、すべての Sled システムが、図により表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内の Sled サーバを選択して、**Detail View (詳細ビュー)** ペインに詳細を表示します。

Dell サーバーインスタンスダイアグラム

Modular System (モジュラーシステム) または **Monolithic Server (モノリシックサーバ)** のダイアグラムビューから Dell サーバを選択し、特定のシステムに固有のダイアグラムを表示します。

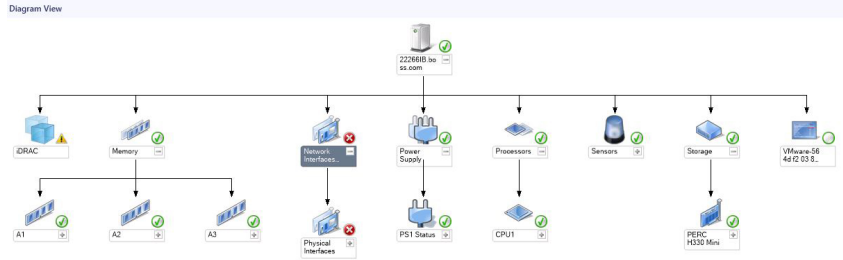


図 1. Dell サーバースタンスダイアグラム

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- 物理インタフェースおよびチームングされたネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage ソフトウェアサービス
- ストレージコンポーネント
- BIOS (インベントリのみ)

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能の詳細エディションによって、メモリ、プロセッサ、ネットワーク、センサー、ストレージ、および電源装置コンポーネントの詳細が表示されます。

ストレージコントローラのコンポーネント階層

物理ディスク、コネクタ、仮想ディスク、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントの状態と正常性を表示するには、任意の Dell システムインスタンスダイアグラムビューで **ストレージ** コンポーネントを展開します。

ネットワークインタフェースのコンポーネント階層

ネットワークインタフェースグループは、Dell サーバー上に Intel または Broadcom ネットワークインタフェースカードが存在し、有効になっている場合にのみ作成されます。ネットワークインタフェースは、**物理インタフェース**および**チームングされたインタフェース**にグループ化されています。ネットワークインタフェースを無効にすると、次の検出サイクル時にネットワークインタフェースグループが管理から削除されます。

チームングされたネットワークインタフェースと、それに関連する物理ネットワークインタフェースの間に、参照関係が作成されます。参照関係は、**Dell Windows Server の物理およびチームング関係検出**の**相関関係の有効化**属性が有効になっているときのみ表示できます。詳細に関しては、**相関関係の有効化**を参照してください。

相関関係の有効化

相関関係の有効化属性を有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを立ち上げます。
- 2 ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
- 3 **オーサリング** タブで、**管理バックオブジェクト > オブジェクト検出**とクリックします。
- 4 **次を検索** : フィールドで、Dell Windows Server Physical and Teamed Relationship Discovery Rule を検索します。

- 右クリックで **Dell Windows サーバー物理関係およびチーミングされた関係の検出ルール > 上書き > オブジェクト検出の上書き > クラス:チーミングされたネットワークインタフェースインスタンス (エンリッチ) の全オブジェクト**と進みます。
プロパティの上書き ページが表示されます。
- 相関関係の有効化** を選択して、**上書き値** を **True** に設定し、**OK** をクリックします。

ダイアグラムビューにあるネットワークインタフェースのステータスロールアップは、**ネットワークインタフェース** グループレベルまでのみが表示されます。例えば、Dell システムの残りのコンポーネントが正常で、1 つのみ、または複数のネットワークインタフェースが重要または非重要状態である場合、Dell システムでは正常性状態の正常アイコンが表示され、**ネットワークインタフェース** グループでは重要または警告アイコンが表示されます。

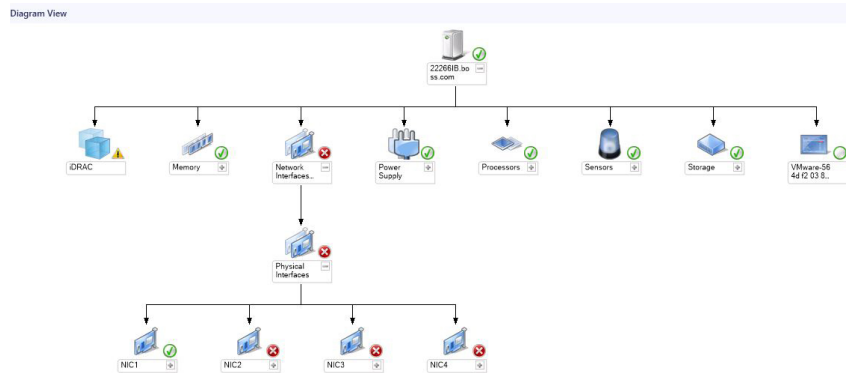


図 2. ネットワークインタフェースのダイアグラムビュー

ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップの有効化

サーバーレベルでのステータスロールアップを表示するには、**ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップ** 依存性監視を有効化する必要があります。

監視を有効化するには、次の手順を実行します。

- OpsMgr コンソールを立ち上げます。
- ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
- 左ペインで **Monitors (監視)** をクリックしてから、この機能を有効にするサーバのタイプを **Network Interfaces Group (ネットワークインタフェースグループ)** で検索します (Dell Windows Server など)。
- Entity Health (エンティティ正常性) > Availability (可用性)** の順にクリックします。
- Network Interfaces Group to Dell Server Health Roll up (ネットワークインタフェースグループから Dell サーバへの正常性ロールアップ)** を右クリックし、**Overrides (上書き) > Override the Monitor (監視の上書き) > For all objects of class: Dell Windows Server (クラス: Dell Windows サーバの全オブジェクト)** の順に選択します。
上書きプロパティ 画面が表示されます。
- 有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
- 管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択** : ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または **新規...** をクリックして管理パックを作成します。
新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。
 - 新規...** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
 - 名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
 - 作成** をクリックします。
宛先の管理パックの選択 : ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
- 適用** をクリックします。

パフォーマンスおよび電源監視ビュー

パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
- 2 **監視** ペインで、**Dell > パフォーマンスおよび電源監視** をクリックして、以下のビューを表示します。

- 環境温度 (セ氏)
- アンペア数 (アンペア)
- ディスクパフォーマンスビュー (%)
- エネルギー消費量 (kWh)
- ピークアンペア数 (アンペア)
- ピーク電力 (ワット)
- 物理ネットワークインタフェース
- 電力消費量 (BTU/時)
- 電力消費量 (ワット)
- チェミングされたネットワークインタフェース

① **メモ:** 電源監視は、特定の属性のための電源監視機能を備えた Dell サーバにのみ適用されます。この機能は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能の詳細エディションが存在する場合に限り、有効になります。

① **メモ:** ディスクパフォーマンスビュー (%)、チェミングされたネットワークインタフェースおよび物理ネットワークインタフェースのインスタンスは、デフォルトでは無効になっており、サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の詳細エディションがインストールおよびインポートされた場合にのみ表示されます。

- 3 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。
収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2 つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、しきい値を超過するかどうかをチェックします。しきい値を超過すると、Dell サーバが状態を変更してアラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、OpsMgr コンソールの **Authoring (オーサリング)** ペインで上書き (有効化) することができます。ユニット監視は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能の **Dell Windows Server (Dell Windows サーバ)** オブジェクトで使用できます。ユニット監視のしきい値を有効にするには、「**パフォーマンスおよび電源監視ユニット監視の有効化**」を参照してください。

パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、「**パフォーマンスコレクションルール**」を参照してください。

パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化

パフォーマンスおよび電源監視ビューのユニット監視を有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
- 2 **管理バックオブジェクト > 監視** をクリックし、**次を検索:** フィールドで **パフォーマンス** を検索します。
- 3 **Dell Windows サーバ > パフォーマンス** をクリックします。
- 4 有効にしたいユニット監視を右クリックします。
- 5 **上書き > 監視の上書き** と選択し、要件に応じてオプションを選択します。

例えば、クラス: Dell Windows サーバのすべてのオブジェクトに対するユニット監視を上書きするには、**クラス: Dell Windows サーバの全オブジェクト** を選択します。

上書きプロパティ 画面が表示されます。

- 6 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。

- 7 **管理バック** 下で、**宛先の管理バックの選択**：ドロップダウンメニューから作成された管理バックを選択、または **新規...** をクリックして管理バックを作成します。
新しい管理バックを作成するには、次の手順を実行します。
 - a **新規...** をクリックします。
管理バックの作成 画面が表示されます。
 - b **名前** フィールドで管理バックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理バックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
 - c **作成** をクリックします
宛先の管理バックの選択：ドロップダウンメニュー内で、作成された管理バックが選択されています。
- 8 **適用** をクリックします。

状態ビュー

このビューは、すべての Dell サーバとラック型ワークステーションの正常性を表示するために使用できます。ネットワーク上で OpsMgr によって管理されている各 Dell サーバまたはラック型ワークステーションの状態を表示するには、OpsMgr コンソールで **Monitoring (監視) > Dell > State Views (状態ビュー)** の順にクリックします。

次のビューで、Dell サーバおよびラック型ワークステーションのステータスを表示できます。

- **サーバおよびラック型ワークステーション**
- **Dell ラック型ワークステーションの状態ビュー**
 - **管理対象ラック型ワークステーション**
- **Dell サーバ状態ビュー**
 - **FM サーバ**
 - **Sled サーバ**

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。

ユニット監視

ユニット監視は、監視対象オブジェクト内で発生する可能性のある様々な状況を評価します。この評価の結果が、ターゲットの正常性状態を決定します。

ユニット監視には以下が含まれます。

- **イベント監視** — この監視は Dell 計装が Windows イベントログに記録するイベントによってトリガされ、対応するオブジェクトの正常性を示します。
- **定期監視** — 秒数間隔で設定された定期的なポーリングによってトリガされます。

次の表には、各種 Dell 監視と該当するパラメータが説明されています。

Dell ユニット監視 — 拡張可能エディション

ライセンス不要な監視機能で発生する可能性のあるさまざまな状況を評価するための監視です (拡張可能エディション監視対象オブジェクト)。

表 7. Dell ユニット監視 — 拡張可能エディション

オブジェクト		ユニット監視
メモリ		
	Dell サーバーメモリステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーメモリ冗長ステータス	イベントおよび定期的監視
OpenManage Software サービス		
	Dell Server Management (DSM) 接続サービス可用性ステータス	定期的
	DSM Data Manager 可用性ステータス	定期的
	DSM Event Manager 可用性ステータス	定期的
	DSM Shared Service 可用性ステータス	定期的
	DSM Storage Service 可用性ステータス	定期的
	Windows Management Instrumentation (WMI) サービス可用性ステータス	定期的
電源装置		
	Dell サーバー電源装置ステータス	イベントおよび定期的監視
プロセッサ		
	Dell サーバープロセッサステータス	イベントおよび定期的監視
センサー		
	Dell サーバーバッテリーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー電流ステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーファンスステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーイントルージョンセンサーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー温度センサーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー電圧センサーステータス	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ		
	ストレージコントローラステータス	イベントおよび定期的監視
ネットワークインタフェースグループ (ベーシック)		

オブジェクト		ユニット監視
	グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期的監視
ネットワークインタフェースグループ (エンリッチ)		
	グローバルエンリッチネットワークインタフェースステータス	イベントおよび定期的監視
	グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC		
	Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェース監視	定期的
Dell OM パフォーマンス		
	周囲温度の平均しきい値アラート監視	定期的
	アンペア数の平均しきい値アラート監視	定期的
	エネルギー消費量の平均しきい値アラート監視	定期的
	消費電力 (BTU/ 時間) の平均しきい値	定期的
	消費電力 (ワット) の平均しきい値アラート監視	定期的
	Dell OM サーバー非対応ユニット監視	定期的

Dell ユニット監視 — 詳細エディション

表 8. Dell ユニット監視 — 詳細エディション

オブジェクト		ユニット監視
メモリユニットインスタンス		
	メモリエvent詳細監視	イベントおよび定期的監視
	メモリユニット詳細監視	イベントおよび定期的監視
電源装置ユニットのインスタンス		
	電源装置詳細	イベントおよび定期的監視
プロセッサユニットのインスタンス		
	プロセッサ詳細	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラコネクタのインスタンス		
	コントローラコネクタイvent監視	イベントおよび定期的監視

オブジェクト		ユニット監視
	コントローラコネクタユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ EMM のインスタンス		
	エンクロージャ EMM イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ EMM ユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラエンクロージャのインスタンス		
	コントローラエンクロージャイベント監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラエンクロージャユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ物理ディスクのインスタンス		
	コントローラ物理ディスクイベント監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラ物理ディスクユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ物理ディスクイベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ物理ディスクユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ電源装置のインスタンス		
	エンクロージャ電源装置イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ電源装置ユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラセンサー		
	コントローラセンサーイベントユニット監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラセンサーユニット監視	イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ		イベントおよび定期的監視
ストレージコントローラ仮想ディスクのインスタンス		イベントおよび定期的監視
	コントローラ仮想ディスクイベント監視	イベント
	コントローラ仮想ディスクユニット監視	定期的
ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ		イベントおよび定期的監視
ストレージエンクロージャセンサー		
	エンクロージャファンイベントユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャファンユニット監視	イベントおよび定期的監視

オブジェクト		ユニット監視
	エンクロージャ温度イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ温度ユニット装置	イベントおよび定期的監視
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)		
	接続ステータス	イベントおよび定期的監視
物理ネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)		
	管理状態	イベントおよび定期的監視
	接続ステータス	イベントおよび定期的監視
	リンクステータス	イベントおよび定期的監視
	動作ステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (ベーシック)		
	チーミングされたネットワークインタフェース (ベーシック) 可用性ステータス	イベントおよび定期的監視
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス (エンリッチ)		
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス(エンリッチ) 管理ステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス(エンリッチ) 接続ステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス(エンリッチ) リンクステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス(エンリッチ) 動作ステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス(エンリッチ) 冗長ステータス	イベントおよび定期的監視
ファンセンサー		
	ファンセンサーユニット監視	定期的
電流センサー		
	電流センサーユニット監視	定期的
電圧センサー		
	電圧センサーユニット監視	定期的
バッテリーセンサー		
	バッテリーセンサーユニット監視	定期的

オブジェクト	ユニット監視
シャーシインテリジェンセンサー	
シャーシインテリジェンセンサーユニット監視	定期的

ルール

この項では、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能に固有のルールの一覧を示します。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite は、OMSA および OMSA Storage Management イベントのルールを処理します。

Server Administrator

OMSA の情報、警告、および重要イベントにはすべて、対応するイベント処理ルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- イベント ID = Server Administrator 計装イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムイベントログ

ストレージ管理

Server Administrator Storage Management Service のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- Event ID (イベント ID) = Server Administrator Storage Management Service イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

パフォーマンスコレクションルール

OpsMgr コンソールで、**監視 > Dell > パフォーマンスおよび電源監視ビュー**をクリックして、Dell サーバーから収集されたパフォーマンス情報を表示します。この機能は、デフォルトでは無効になっており、機能の有効化については、[パフォーマンスコレクションルールの有効化](#)を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールは、以下のパラメータについての情報を収集します。

- ディスクパフォーマンス (%)
- 環境温度 (セ氏)
- アンペア数 (アンペア)
- エネルギー消費量 (kWh)
- ピークアンペア数 (アンペア)
- ピーク電力 (ワット)

- 物理ネットワークインターフェイス
- 電力消費量 (BTU/ 時)
- 電力消費量 (ワット)
- チューニングされたネットワークインターフェイス

① メモ:

- サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能の詳細エディションをインポートすると、無効のパフォーマンス(ネットワークパフォーマンスを除く)とライセンス不要のディスクパフォーマンス (%) コレクションルールがデフォルトで有効になります。
- **ディスクパフォーマンス (%)** — このビューには Dell サーバーのソリッドステートドライブ (SSD) の **残存する定格書き込み耐久性**が表示されます。このデータを表示するには、オブジェクトの **SSD** を検索してください。

① **メモ:** ネットワーク統計は、サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能の詳細エディションでのみ定義され、デフォルトでは無効に設定されています。機能を有効にするには、「**パフォーマンスコレクションルールの有効化**」を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールの有効化

この機能を有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
- 2 **ルール** をクリックし、**次を検索** : フィールドで **エンリッチ** を検索します。
- 3 有効にするルールを右クリックします。
例えば、すべての Dell システムのネットワークインターフェイスの情報を収集するには、下記のルールに対して手順 4~5 を実行します。
 - 送信されたパケットの総数
 - 受信されたバイト数
 - 受信されたパケット総数
 - 送信されたバイト数
- 4 **上書き > ルールの上書き > クラスの全オブジェクト** と選択します。
- 5 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
- 6 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択** : ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または **新規...** をクリックして新しい管理パックを作成します。
新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。
 - a **新規...** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
 - b **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
 - c **作成** をクリックします
宛先の管理パックの選択 : ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
- 7 **適用** をクリックします。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されません。

タスクサマリ

Dell タスクの実行

次の表では、OpsMgr 上で実行できる Dell タスクの概要を説明します。

表 9. Dell Windows サーバタスク

タスク	説明
ノードインタフェースのチェック	選択した Dell サーバとそれに対応するインタフェースに対して WMI が到達可能か到達不能かを確認します。
電源ステータスのチェック	システムの全体的な電源ステータスを確認します。
ESM ログのクリア	選択したシステムの Embedded System Management (ESM) ログの内容をバックアップし、ESM ログファイルをクリアします。
強制電源オフ	オペレーティングシステムをシャットダウンせずに、システムの電源をオフにします。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。 ① メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。
X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動	64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動します。
Dell OpenManage Power Center の起動	管理サーバー上で Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。
Dell Remote Access Console の起動	サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能を使用して検出された Dell サーバーの DRAC コンソールを起動します。
OpenManage Server Administrator の起動	OpenManage Server Administrator を起動します。
Remote Desktop の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。
パワーサイクル	電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入します。
正常電源オフ	最初にオペレーティングシステムをシャットダウンしてから、システムの電源をオフにします。
電源オン	システムの電源をオンにします。このオプションは、システムがオフの場合にのみ選択できます。
電源リセット	システム電源をオフにしてから、再度オンにします。
LED 識別表示オン	選択したシステムの識別 LED を 255 秒間オンにします。

タスク	説明
LED 識別表示オフ	選択したシステムの識別 LED をオフにします。

Dell Windows サーバータスク

ノードインタフェースのチェック

Check Node Interfaces (ノードインタフェースのチェック) は、選択した Dell サーバとそれに対応するインタフェースに対して WMI が到達可能か到達不能かを確認するタスクです。

ノードインタフェースをチェックするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 Dell **Diagram Views (ダイアグラムビュー)** と **State Views (状態ビュー)** のいずれかで目的の Dell サーバを選択するか、**Alerts Views (アラートビュー)** でアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバタスク)** > **Check Node Interfaces (ノードインタフェースのチェック)** の順に選択します。

このタスクは、到達可能性チェックの概要を表示し、インタフェースについてはタスクが正常に完了してからチェックします。

電源ステータスのチェック

電源ステータスをチェックして、IPMI シェルを介した電源制御タスクを許可します。

① メモ: アドバンス電源制御を有効にするには、**BMU (Baseboard Management Controller Management Utility)** をデフォルトパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、**新規コンソールタスクを作成してください**。新規コンソールタスクの作成の詳細については、「[Creating Advanced Power Control And LED Identification Tasks \(アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成\)](#)」を参照してください。

システムの電源ステータスをチェックするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **Diagram View (ダイアグラムビュー)**、**State View (状態ビュー)**、または **Alert View (アラートビュー)** に移動します。
- 2 **Diagram View (ダイアグラムビュー)** または **State View (状態ビュー)** のどちらかで目的の Dell サーバを選択するか、**Alerts View (アラートビュー)** でアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバタスク)** > **Check Power Status (電源ステータスのチェック)** の順に選択します。

ESM ログのクリア

ハードウェアログとも呼ばれる Server Administrator Embedded Server Management (ESM) ログは、エラー修正コード (ECC)、システムのリセットと起動、およびプロンプト値の変更など、ハードウェアによって生成されるすべてのシステムイベントのリストを維持します。ハードウェアエラーが表示されたときやシステムが正しく機能しないときなどに、このログを参照できます。

ESM ログのクリア タスクを行うには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **ESM ログのクリア** を選択します。
タスクの実行 ウィンドウが表示されます。
- 4 **実行** をクリックして、選択したデバイスの ESM ログをクリアします。

ESM ログのクリア タスクを実行すると、タスク実行画面には、開始しているタスクの結果のみが表示されます。例えば、ESM ログがクリアされていない場合でも、タスク実行画面には、成功したという結果が表示されることがあります。これは、**ESM ログのクリア** タスクの開始が成功したことを表しています。

強制電源オフ

強制電源オフ タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンせずに Dell サーバーの電源をオフにすることができます。

- ① **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

システムの電源を切るには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで **Dell Windows サーバータスク > 強制電源オフ** と選択します。

保証情報の取得

保証情報の取得 タスクでは、選択した Dell サーバーの保証ステータスを表示することができます。

- ① **メモ:** 保証情報を取得するには、**アクティブなインターネット接続が必要です。**

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > 保証情報の取得** と選択します。

X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動

X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動 タスクでは、64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動することができます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンス用の 1 対多ライセンス展開および報告ツールです。

- ① **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、**Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。** 詳細に関しては、[License Manager 起動タスクの作成](#)を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > X64 ビット管理サーバーで Dell License Manager を起動** と選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

このタスクを使用して、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) > Launch Dell OpenManage Power Center (Dell OpenManage Power Center の起動)** の順に選択します。

Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

OpenManage Server Administrator の起動

OpenManage Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** と移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) > Launch Server Administrator (Server Administrator の起動)** の順に選択します。

① **メモ:** Dell EMC Server Management Pack Suite タスクが Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop の起動

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > リモートデスクトップの起動** を選択します。

① **メモ:** リモートデスクトップの起動は、管理下ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

パワーサイクル

パワーサイクル タスクでは、Dell サーバーの電源をオフにした後、間隔をおいて電源オンにすることができます。

① **メモ:** アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、**新規コンソールタスクを作成してください**。新規コンソールタスクの作成の詳細については、**アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成**を参照して下さい。

パワーサイクルを行うには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、**ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > パワーサイクル** と選択します。

正常電源オフ

正常電源オフ タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンして Dell サーバーの電源をオフにすることができます。

① **メモ:** アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、**新規コンソールタスクを作成してください**。新規コンソールタスクの作成の詳細については、**アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成**を参照して下さい。

システムの電源を正常に切るには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > 正常電源オフ** と選択します。

電源オン

電源オン タスクでは、サーバーの電源をオンにすることができます。このオプションは、システムの電源がオフになっている場合でも使用可能です。

- ① **メモ:** アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、**新規コンソールタスクを作成してください**。新規コンソールタスクの作成の詳細については、**アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成**を参照して下さい。

システムの電源をオンにするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > 電源オン** と選択します。

電源リセット

電源リセット タスクでは、Dell サーバーの電源をオフにしてから電源をオンにすることができます。

- ① **メモ:** アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、**新規コンソールタスクを作成してください**。新規コンソールタスクの作成の詳細については、**アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成**を参照して下さい。

システムの電源をリセットするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > 電源リセット** と選択します。

LED 識別表示オン

LED 識別表示オン タスクでは、選択した Dell サーバー上の LED 識別表示をオンにすることができます。

- ① **メモ:** アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、**新規コンソールタスクを作成してください**。新規コンソールタスクの作成の詳細については、**アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成**を参照して下さい。

LED 識別表示をオンにするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > LED 識別表示をオンにする** と選択します。

LED 識別表示オフ

LED 識別表示オフ タスクでは、選択した Dell サーバー上の LED 識別表示をオフにすることができます。

- ① **メモ:** アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)を参照して下さい。

LED 識別表示をオフにするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク > LED 識別表示をオフにする** と選択します。

レポート

レポート機能では、OpenManage Windows イベントログ、Dell サーバ BIOS、ファームウェア、および RAID 設定についてのレポートを作成できます。

① **メモ:**

- サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能は、オブジェクトレベルに対してのみレポートをサポートします。
- Dell サーバ BIOS、ファームウェア、および RAID 設定のレポートは、詳細エディションのみで使用可能です。

レポートへのアクセス

レポートにアクセスするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで **レポート** をクリックします。
- 2 **OpenManage Windows Event Log (OpenManage Windows イベントログ)** の場合は **Dell Windows Server (Scalable Edition) (Dell Windows Server (拡張可能エディション))** をクリックし、**BIOS Configuration (BIOS 設定)**、**Firmware and Driver Versions (ファームウェアとドライババージョン)**、および **RAID Configuration (RAID 構成)** のレポートの場合は **Dell Windows Server (Detail Edition) (Dell Windows Server (詳細エディション))** をクリックします。

- ① **メモ:** また、サーバインスタンスをクリックすることによって、**Diagram View (ダイアグラムビュー)** または **State View (状態ビュー)** から **Reporting (レポート)** にアクセスすることもできます。**Dell Reports (Dell レポート)** のオプションは、デフォルト Microsoft レポートと共に、**Dell システムインスタンスレポート**下の **Tasks (タスク)** ペインにあります。

OpenManage Windows イベントログレポートの生成

OpenManage Windows イベントログのレポートを生成するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
- 2 **Dell Windows Server (拡張可能エディション)** をクリックします。
- 3 **OpenManage Windows イベントログ** をクリックして、**タスク** ペインの **開く** をクリックします。
- 4 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 5 **オブジェクトの追加** をクリックします。
- 6 Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
- 7 生成するレポートの対象となるイベントの **重要度** を選択します。
- 8 **実行** をクリックします。
OpenManage Windows イベントログ レポートが生成されます。

BIOS 設定レポートの生成

BIOS 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
- 2 **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。
- 3 **BIOS 設定** をクリックして、**タスク** ペインの **開く** をクリックします。
- 4 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 5 **オブジェクトの追加** をクリックします。
- 6 Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
- 7 必要とする **プロパティ** を選択します。
- 8 **実行** をクリックします。
BIOS 設定 レポートが生成されます。

ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成

ファームウェアおよびドライババージョンのレポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
- 2 **Dell Windows Server (詳細エディション)** をクリックします。
- 3 **ファームウェアとドライババージョン** をクリックし、**タスク** ペインで **開く** をクリックします。
- 4 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 5 **オブジェクトの追加** をクリックします。
- 6 Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
- 7 **実行** をクリックします。
ファームウェアとドライババージョン のレポートが生成されます。

RAID 設定レポートの生成

RAID 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、**レポート** をクリックします。
- 2 **Dell Windows サーバー (詳細エディション)** をクリックします。
- 3 **RAID 設定** をクリックして、**タスク** ペインの **開く** をクリックします。
- 4 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 5 **オブジェクトの追加** をクリックします。
- 6 Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
- 7 必要とする **プロパティ** を選択します。
- 8 **実行** をクリックします。
RAID 設定 レポートが生成されます。

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)機能

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)機能は、次のデバイスの検出および監視方法に基づいて、詳細または拡張可能インベントリを提供します。

- 第 12、13、14 世代 PowerEdge サーバ
- PowerVault システム
- Dell Precision ラック
- Dell ブランドの OEM サーバ
- Dell OEM Ready サーバ

これらのデバイスのインベントリおよび監視は、監視プリファレンスに基づいて、次の方法のいずれかで、管理下サーバまたはラック型ワークステーションにインストールされている iDRAC または iDRAC Service Module (iSM) から実行できます。

- WS-MAN を使用した iDRAC
- ホスト OS を介した iDRAC アクセス
- WMI を使用した iSM

これはライセンスが必要な機能です。

WS-MAN またはホスト OS を使用した iDRAC 経由でのサーバの監視の詳細については、『Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.0 for Microsoft System Center Operations Manager User's Guide (Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 ユーザーズガイド)』の「Server and Rack Workstation Monitoring (Licensed) Feature (サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能)」の項を参照してください。

iSM の対応プラットフォームのリストについては、Dell.com/manuals の『iDRAC サービスモジュールインストールガイド』を参照してください。

前提条件が満たされていれば、Dell EMC Server Management Pack Suite インストーラは、サーバおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)機能を自動でインポートします。

トピック :

- [WS-MAN を使用した iDRAC またはホスト OS からの iDRAC アクセス](#)
- [WMI を使用した iSM](#)

WS-MAN を使用した iDRAC またはホスト OS からの iDRAC アクセス

本項では、WS-MAN を使用するサーバの iDRAC (iDRAC IP) またはホスト OS 経由の iDRAC アクセス (ホスト IP) を通じて Dell デバイスを監視する方法について説明します。後者は試験的機能です。

このオプションでは、次の Dell デバイスの詳細インベントリと監視を提供します。

- 第 12、13、14 世代 PowerEdge サーバ

- PowerVault システム
- Dell Precision ラック
- Dell ブランドの OEM サーバー
- Dell OEM Ready サーバー

① **メモ:** PowerVault システムは iDRAC サービスモジュール (iSM) ではサポートされません。

Dell デバイスの検出の詳細については、を参照してください。 [Dell サーバーの検出](#)

ホスト OS 経由の iDRAC アクセス (試験的機能) の使用の詳細に関しては、[Dell.com/idracmanuals](#) の『Integrated Dell Remote Access Controller 7/8/9 with Lifecycle Controller ユーザーズガイド』を参照してください。

拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較

次の表は、拡張可能エディションおよび詳細エディション機能を使用することができる環境の理解に役立ちます。

表 10. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象)	<ul style="list-style-type: none"> • 個々のコンポーネントまでのインベントリ。 • サーバー、ラック型ワークステーション、およびコンポーネントグループレベルでの正常性監視。 	<ul style="list-style-type: none"> • 個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。 • 電源、温度のメトリックス、およびネットワークインタフェースカード、プロセッサ、メモリ、1 秒あたりのコンピューティング使用量 (CUPS)、PCIe SSD 摩耗率、および IO パフォーマンスメトリックの表示。

検出とグループ化

Dell EMC Server Management Pack Suite により、Dell サーバの検出および分類ができるようになります。

次の表は、WS-MAN を使用した iDRAC からのサーバおよびラックの監視 (ライセンス対象) 機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 11. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell サーバー	Dell モニタリングサーバー Dell モジュラーサーバー Dell Sled グループ	PowerEdge システム PowerVault ストレージサーバ
Dell ラック型ワークステーション	ラック型ワークステーションダイアグラム	Dell Precision ラック

Dell サーバーの検出

前提条件 :

- 共通の前提条件：
 - サーバーおよびラックの監視（ライセンス対象）機能を使用して Dell サーバーを検出する前に Microsoft SMASH ライブラリ（MPB）ファイルをインストールします。
Microsoft SMASH ライブラリ（MPB）ファイルのインストールの詳細については、dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement で『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 インストールガイド』の「WS-Management と SMASH デバイステンプレートのインストール」の項を参照してください。
- ホスト OS からの iDRAC アクセスの場合：
 - 必要な iSM バージョンが管理ノードにインストールされている。
 - ホスト OS からの iDRAC アクセスが有効に設定されている。
これは試験的機能です。詳細については、Dell.com/idracmanuals で『Integrated Dell Remote Access Controller7/8 with Lifecycle Controller ユーザーズガイド』の「iDRAC access via Host OS（Experimental Feature）（ホスト OS 経由の iDRAC アクセス（試験的機能））」のセクションを参照してください。

WS-MAN を使用した iDRAC またはホスト OS からの iDRAC アクセスで Dell サーバーを検出するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr にログインします。
- 2 OpsMgr コンソールで、**オーサリング**をクリックします。
- 3 ナビゲーションペインの下部で**監視の追加ウィザード**をクリックします。
監視の追加ウィザード画面が表示されます。
- 4 **監視タイプの選択**画面で、**WS-Management と SMASH デバイス検出**を選択して、**次へ**をクリックします。
- 5 **一般プロパティ**画面の **名前** フィールドに、ウィザードの名前を入力します。
- 6 **管理バック**で、**新規**をクリックします。
管理バックの作成画面が表示されます。
- 7 **名前** フィールドで管理バックの名前を入力して、**新規**をクリックします。
管理バックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
- 8 **作成**をクリックします。
管理バック ドロップダウンボックスで、作成された管理バックが選択されています。
- 9 **Next**（次へ）をクリックします。
- 10 **ターゲットの指定**ドロップダウンメニューで、これらのデバイスの監視のためのリソースプールを選択して、**次へ**をクリックします。
- 11 **検出の実行に使用するアカウントの指定**画面で、**新規**をクリックして、シンプル認証の Run As アカウントを作成します。
シンプル認証タイプの Run As アカウントの作成の詳細については、「[シンプル認証 Run As アカウントの作成](#)」を参照してください。

① **メモ:** iDRAC 用に AD ドメイン資格情報を使用している場合は、`username@domainname.com` というフォーマットで資格情報を入力してください。

- 12 **Run As アカウント** ドロップダウンメニューから作成した Run As アカウントを選択して、**次へ**をクリックします。
- 13 **追加**をクリックします。
- 14 **Add Devices（デバイスの追加）**画面で、検出するシステムの iDRAC IP（優先検出方法が WS-MAN を使用した iDRAC の場合）またはホスト IP（優先検出方法がホスト OS 経由の iDRAC アクセスの場合）アドレスを、監視プリファレンスに基づいて指定します。システムの優先 IP アドレスは次のように指定できます。
 - 提供した **IP サブネット** をスキャンする。
 - 指定された **IP 範囲** をスキャンする。
 - iDRAC IP/ ホスト IP アドレスのリストを含むテキストファイルをインポートする。

詳細については、Dell.com/idracmanuals で『Integrated Dell Remote Access Controller7/9 with Lifecycle Controller ユーザーズガイド』の「**iSM PowerShell スクリプトを使用した設定**」を参照してください。
- 15 **詳細オプション** をクリックし、**CA チェックを省略** および **CN チェックを省略** オプションを選択して、**OK** をクリックします。
- 16 **デバイスのスキャン** をクリックして、ネットワーク上の Dell サーバーを検索します。
IP アドレスが **使用可能デバイス** にリストされます。

- 17 **追加** をクリックして、監視する IP アドレスのリストを追加し、**OK** をクリックします。
- 18 **監視するデバイスの指定** 画面で、**作成** をクリックします。
- 19 **閉じる** をクリックします。
 スキャンされた Dell サーバは、まず **Monitoring (監視) > WS-Management and SMASH Monitoring (WS-Management と SMASH 監視) > WS-Management Device State (WS-Management デバイス状態)** 画面に表示されます。自動でトリガされた SMASH の OpsMgr による検出が完了すると、Dell サーバは **Monitoring(監視) > WS-Management and SMASH Monitoring(WS-Management と SMASH 監視) > SMASH Device State (SMASH デバイス状態)** 画面に表示されます。
- 20 機能管理ダッシュボードでサーバーおよびラックの監視 (ライセンス対象) 機能を有効にします。

WS-MAN を使用した iDRAC によるオブジェクトの検出

表 12. WS-MAN を使用した iDRAC で検出されたオブジェクト

検出オブジェクト	説明
Dell サーバ検出	Dell サーバを分類し、重要な属性およびコンポーネントにデータを投入します
Dell Device Helper 検出	DellDeviceHelper をオブジェクトとして検出します。
Dell ホスト NIC 関連検出	ホスト NIC インタフェースと物理インターフェイスを関連させます。 ① メモ: チョーミングされたネットワークインタフェースは、チーム内の NIC を 1 つだけ表示します。

監視

Dell EMC Server Management Pack Suite をインストールすると、OpsMgr の **Monitoring (監視)** ペインを使用して、検出された Dell サーバの正常性情報を表示するビューを選択することができます。**Server and Rack Workstation Monitoring (Licensed) (サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象))** 機能は、Dell サーバの正常性を検出および監視します。

① **メモ:** ホスト OS を介した iDRAC アクセス機能で検出されたデバイスから SNMP アラートを受信するには、SNMP サービスを管理下ノードにインストールし、管理サーバの IP アドレスをトラップの送信先として **SNMP Services (SNMP サービス)** に設定する必要があります。

管理下ノードで SNMP サービスをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 管理ノードで **Server Manager (サーバマネージャ) > Roles and Features (役割と機能) > Features (機能)** の順に移動します。
- 2 **SNMP Services** をインストールします。
- 3 使用可能なサービスのリストから、**SNMP Services** を右クリックし、**Properties (プロパティ)** を選択します。
- 4 **SNMP サービスのプロパティ (ローカルコンピュータ)** ウィンドウで、**トラップタブ**を選択します。
- 5 **コミュニティ名**フィールドでコミュニティ文字列を設定し、**トラップ送信先**フィールドに管理サーバの IP アドレスを入力して **OK** をクリックします。

これでホスト OS からの iDRAC アクセス (試験的) 方法を使用して iSM で検出したノードの SNMP トラップを受信できます。

重要度レベルのインジケータは、ネットワーク上の Dell サーバの正常性を示します。これには、モジュラーシステム、モニタリングシステム、およびサポート対象の Dell Precision ラックとそのコンポーネントの正常性の定期的な監視が含まれています。

ライセンス不要の監視機能の **Server and Rack Workstation Monitoring (サーバおよびラック型ワークステーションの監視)** と **Server and Rack Workstation Monitoring (Licensed) (サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象))** 機能によって監視されるシステム部品が全く同じというわけではない場合、ライセンス不要 (OMSA) の方法とライセンス対象 (WS-MAN を使用した iDRAC、ホスト OS からの iDRAC アク

セス、または WMI を使用した iSM) の方法とで、表示されるサーバ全体の正常性が異なる可能性があります。そのような不一致を見つけた場合は、特定のコンポーネントの状態まで掘り下げてシステム部品の特定の問題を解決し、サーバ全体の正常性を **OK** 状態にします。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、WS-MAN を使用した iDRAC から検出されたデバイスの拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 13. 監視対象ハードウェアコンポーネント — 拡張可能機能および詳細機能 (WS-MAN を使用した iDRAC)

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
BIOS	無	無
バッテリーセンサーグループ	無	有
バッテリーセンサー	無	有
電流センサーグループ	無	有
電流センサー	無	有
ファンセンサーグループ	無	有
ファンセンサー	無	有
ホスト NIC グループ	無	有
ホスト NIC	無	有
iDRAC ネットワークインタフェース	有	有
iDRAC	無	無
インテルージョンセンサーグループ	無	有
インテルージョンセンサー	無	有
ライセンスグループ	有	無
ライセンス	無	有
メモリ	有	無
メモリインスタンス	有	有
物理ネットワークインタフェース	無	有
物理ネットワークインタフェースグループ	有	有
プロセッサグループ	有	無
プロセッサ	有	無

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
電源装置グループ	有	有
電源装置	無	有
PCIe SSD エクステンダ	無	有
PCIe SSD バックプレーン	無	有
PCIeSSD 物理ディスク	無	有
サーバーセンサー	無	有
サーバーストレージ	有	有
ストレージコントローラコネクタ	無	有
ストレージコントローラ	無	有
ストレージコントローラセンサー	無	有
ストレージコントローラバッテリーグループ	無	有
ストレージコントローラバッテリー	無	有
ストレージ仮想ディスクグループ	無	有
ストレージ仮想ディスク	無	有
ストレージコントローラ物理ディスクグループ	無	有
ストレージコントローラ物理ディスク	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ EMM	無	有
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサーグループ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ電源装置グループ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ電源装置	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ温度センサーグループ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー	無	有
ストレージコントローラエンクロージャセンサー	無	有

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
SD カードグループ	無	有
SD カード	無	有
温度センサーグループ	無	有
温度センサー	無	有
電圧センサーグループ	無	有
電圧センサー	無	有

外観

Dell EMC Server Management Pack Suite では、OpsMgr コンソールの **Dell** フォルダに、次の種類のビューを提供します。

- アラートビュー
- ダイアグラムビュー
- パフォーマンスおよび電源監視ビュー
- 状態ビュー

アラートビュー

このビューは、Dell サーバおよびラック型ワークステーションからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能により、次のアラートが表示されます。

- PowerEdge サーバ、PowerVault システム、およびサポート対象 Dell Precision ラックの Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受信したイベントに対するアラートをリンクアップおよびリンクダウンします。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでサーバおよびラックの監視（ライセンス対象）機能のアラートを表示するには、次の手順を実行します。

- OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
- Dell > アラートビュー** とクリックします。
次の **アラートビュー** が表示されます。
 - ネットワークインタフェースアラート** — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
 - Server and Rack Workstation Alerts (サーバおよびラック型ワークステーションアラート)** - iDRAC7、iDRAC8、または iDRAC9 を装備した第 12、13、および 14 世代の PowerEdge サーバ、PowerVault ストレージサーバ、および Dell Precision ラックについて、SNMP トラップが表示されます。
 - Dell ラック型ワークステーションのアラートビュー**
 - ネットワークインタフェースアラート
 - ラック型ワークステーションのアラート
- サーバおよびラック型ワークステーションのアラート** または **ラック型ワークステーションのアラート** を選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
- アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

Diagram Views (ダイアグラムビュー) には、ネットワーク上のすべての PowerEdge サーバおよびサポート対象の Precision ラック型ワークステーションが、階層的な図により表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムビューの表示

OpsMgr コンソールでダイアグラムビューを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**監視 > Dell > ダイアグラムビュー** とクリックします。
- 2 次のビューの **ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - [モジュラーシステムダイアグラム](#)
 - [モノリシックサーバーダイアグラム](#)
- 3 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
- 4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

ラック型ワークステーションダイアグラム

Dell ラックワークステーションダイアグラムビュー には、すべての対応ラック型ワークステーションの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスおよびコンポーネントを展開してステータスを確認することができます。ダイアグラムのラックワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインにその詳細を表示してください。

モジュラーおよびモノリシックシステム

モジュラーシステムダイアグラム および **モノリシックサーバーダイアグラム** ビューには、次の詳細情報が表示されます。

- 物理ネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源装置
- センサー
- プロセッサ
- ストレージコンポーネント
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC NIC
- ホスト NIC
- SD カード
- ライセンス

モジュラーシステムダイアグラム

Modular Systems Diagram View (モジュラーシステムのダイアグラムビュー) には、すべてのモジュラーシステムが、図により表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやそのコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

モノリシックサーバーダイアグラム

Monolithic Systems Diagram View (モノリシックシステムのダイアグラムビュー) には、すべてのモノリシックシステムが、図により表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Sled サーバーダイアグラム

Sled Servers Diagram (Sled サーバダイアグラム) ビューには、すべての Sled システムが、図により表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内の Sled サーバを選択して、**Detail View (詳細ビュー)** ペインに詳細を表示します。

Dell サーバーインスタンスダイアグラム

Modular System (モジュラーシステム) または **Monolithic Server (モノリシックサーバ)** のダイアグラムビューから Dell サーバを選択し、特定のシステムに固有のダイアグラムを表示します。

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- 物理インターフェース
- メモリ
- 電源ユニット
- センサー
- プロセッサ
- ストレージコンポーネント
- ホスト NIC
- ライセンス
- PCIe/ SSD
- SD
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC NIC

ストレージコントローラのコンポーネント階層

物理ディスク、コネクタ、仮想ディスク、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントの状態と正常性を表示するには、任意の Dell システムインスタンスダイアグラムビューで **ストレージ** コンポーネントを展開します。

パフォーマンスおよび電源監視ビュー

① メモ:

- システム基板の使用率メトリクスは、第 13 世代の PowerEdge サーバの一部でのみサポートされます。パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、「[パフォーマンスコレクションルール](#)」を参照してください。また、Dell Server Performance ルールを有効にしてください。
- **Dell Performance View (Dell パフォーマンスビュー)** には、CPU やメモリのパフォーマンス、I/O 使用率、およびシステムレベルの CUPS といったインデックスが、図形式で表示されます。

パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
 - 2 **監視** ペインで、**Dell > パフォーマンスおよび電源監視** をクリックして、以下のビューを表示します。
 - **Dell パフォーマンスビュー**
 - **ディスクパフォーマンス - ライセンス対象 (%)**
- ① **メモ:** すべてのパフォーマンスメトリックルールは、サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能に対してデフォルトでは無効に設定されています。
- 3 **System Board Usage (システム基板の使用率)** メトリックを表示するには、**Performance and Power Monitoring (パフォーマンスおよび電源監視) > System Board Usage (システム基板の使用率)** の順にクリックして、次のビューを表示します。
 - **CPU 使用率 (%)**
 - **IO 使用率 (%)**
 - **メモリ使用率 (%)**
 - **システム全体の使用率 (%)**
 - 4 個々のパフォーマンスビューでカウンタを選択し、必須値の時間範囲を選択します。
収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2 つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、しきい値を超過するかどうかをチェックします。しきい値を超過すると、サーバが状態を変更してアラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、OpsMgr コンソールの **Authoring (オーサリング)** ペインで上書き (有効化) することができます。ユニット監視は、ライセンス対象の監視機能の **Dell Server (Dell サーバ)** オブジェクトで使用できます。ユニット監視のしきい値を有効にするには、「[パフォーマンスおよび電源監視ユニット監視の有効化](#)」を参照してください。

パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、「[パフォーマンスコレクションルール](#)」を参照してください。

パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化

パフォーマンスおよび電源監視ビューのユニット監視を有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
 - 2 **管理バックオブジェクト > 監視** をクリックし、**次を検索:** フィールドで **パフォーマンス** を検索します。
 - 3 **Dell サーバ > パフォーマンス** をクリックします。
 - 4 有効にしたいユニット監視を右クリックします。
 - 5 **上書き > 監視の上書き** と選択し、要件に応じてオプションを選択します。
例えば、クラス: Dell サーバのすべてのオブジェクトに対するユニット監視を上書きするには、**クラス: Dell サーバの全オブジェクト** を選択します。
- 上書きプロパティ** 画面が表示されます。
- 6 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
 - 7 **管理バック** 下で、**宛先の管理バックの選択:** ドロップダウンメニューから作成された管理バックを選択、または **新規...** をクリックして管理バックを作成します。
新しい管理バックを作成するには、次の手順を実行します。
 - a **新規...** をクリックします。
管理バックの作成 画面が表示されます。
 - b **名前** フィールドで管理バックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理バックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
 - c **作成** をクリックします
宛先の管理バックの選択: ドロップダウンメニュー内で、作成された管理バックが選択されています。
 - 8 **適用** をクリックします。

状態ビュー

このビューは、すべての Dell サーバとサポート対象のラック型ワークステーションの正常性を表示するために使用できます。OpsMgr コンソールで、**Monitoring (監視) > Dell > State Views (状態ビュー)** の順にクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理される各 Dell サーバおよびラック型ワークステーションのステータスが表示されます。

次のグループのステータスを表示することができます。

- **サーバおよびラック型ワークステーション (ライセンス対象)**
- **Dell ラック型ワークステーションの状態ビュー**
 - **管理対象ラック型ワークステーション (ライセンス対象)**
- **Dell サーバ状態ビュー**
 - **FM サーバ**
 - **Sled サーバ (ライセンス対象)**
 - **管理対象外サーバ (ライセンス対象)**

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。**重要度レベルのインジケータ**では、各種状況コンポーネントについて説明します。状況コンポーネントは、それに対応する重要度レベルに対して、Dell EMC Server Management Pack Suite で使用されます。

サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能の主要機能

本項には、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能で検出されたサーバの主要機能がリストされています。

- システム構成ロックダウンモード
- iDRAC グループマネージャ
- イベントの自動解決
- 容量計画
- iDRAC による障害発生 CMC の検出
- サーバポートの接続情報

システム構成ロックダウンモード

システム構成ロックダウンモードは、第 14 世代の PowerEdge サーバに対して iDRAC で利用できる機能であり、ファームウェアのアップデートを含むシステムの構成をロックします。システム構成ロックダウンモードが有効になると、システムの構成を変更することはできません。この機能は、意図しない変更からシステムを保護するためのものです。iDRAC コンソールを使用して、システム構成ロックダウンモードを有効または無効にすることができます。

システム構成ロックダウンモードが有効の場合、トラップ送信先情報をサーバで設定することはできません。したがって、監視でのアラートは生成されません。このような場合、システム構成ロックダウンモードが有効でありアラートのトラップ送信先情報が設定されていない、ということを伝える重要アラートが通知されます。

- ① **メモ:** サーバ検出間隔が更新または変更された直後に *Dell OM : System configuration lockdown (Dell OM : システム構成ロックダウン)* アラートルールの間隔を更新することをお勧めします。この推奨手順を実行すると、システムロックダウンモードのアラートが、一定の間隔でのサーバの検出が完了した後に生成されるようになります。

Diagram View (ダイアグラムビュー) の **Detail View (詳細ビュー)** ペインで、システム構成ロックダウンモードの詳細を確認できます。この機能の詳細については、『*Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 User's Guide (Integrated Dell Remote Access Controller 9 バージョン 3.00.00.00 ユーザーズガイド)*』を参照してください。

この機能は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能で iDRAC と iSM の両方の方法によって検出されたサーバに対して使用できます。

iDRAC グループマネージャ

iDRAC グループマネージャ機能は、第 14 世代 PowerEdge サーバで利用でき、同じローカルネットワーク上の iDRAC および関連サーバの基本的な管理を簡素化します。グループマネージャ機能により、別のアプリケーションを使用せずに 1 対多コンソールを使用できます。iDRAC グループマネージャを使用することで、サーバの障害を目視で検査するなどの手動方式よりも強力な管理が可能になり、ユーザーは一連のサーバの詳細を確認できます。

iDRAC グループマネージャ、iDRAC グループマネージャの状態、および iDRAC グループ名の詳細は、**Diagram View (ダイアグラムビュー)** の **Detail View (詳細ビュー)** ペインに表示される **iDRAC オブジェクト** で確認できます。この機能の詳細については、『*Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 User's Guide (Integrated Dell Remote Access Controller 9 バージョン 3.00.00.00 ユーザーズガイド)*』を参照してください。

この機能は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能で iDRAC と iSM の両方の方法によって検出されたサーバに対して使用できます。

イベントの自動解決

本項では、イベントの自動解決機能による Dell デバイスイベントの自動解決または確認について説明します。

Dell EMC Server Management Pack Suite は Dell デバイスからのイベントを受信して処理します。これらのイベントはだまかに、問題、情報、および解決のイベントに分類されます。これらすべてのイベントは、手動で閉じるまでコンソールに残ります。ノードで問題が解決された後も、問題イベントと対応する解決イベントは、手動で確認されるまでコンソールに残ります。イベントの自動解決機能は、こうした Dell デバイスイベントを自動で解決または確認します。

イベントの自動解決は次のように分類されます。

- 問題から問題へ - ある問題イベントが別の問題イベントを解決します。例えば、温度センサーが警告しきい値を超えた場合に警告イベントを送信します。アクションが行われずに一定時間が経過した後、同じセンサーが重要なイベントを通過すると、重要イベントが送信されます。この場合、警告されたイベントが存在しないため、警告イベントは重要ではありません。したがって、警告イベントは確認され、重要イベントのみがコンソールに表示されます。
- 問題から解決へ - ある解決または正常イベントが問題イベントを解決します。例えば、温度センサーが警告しきい値を超えた場合に警告イベントを送信します。管理者が適切なアクションを行った場合、同じセンサーが一定時間経過後に、解決イベントまたは正常イベントを送信します。この場合、警告されたイベントが存在しないため、警告イベントは重要ではありません。したがって、警告イベントは確認され、正常イベントのみがコンソールに表示されます。

この機能は、WS-MAN を使用した iDRAC で検出されたサーバのみで使用できます。デフォルトでは、**Event Auto Resolution (イベントの自動解決)** は **Disabled (無効)** に設定されています。この機能を有効にするには、**Enable Event Auto Resolution (イベントの自動解決の有効化)** タスクを使用します。タスク **Enable Event Auto Resolution (イベントの自動解決の有効化)** および **Disable Event Auto Resolution (イベントの自動解決の無効化)** は、**Dell > Feature Management Dashboard > Server and Rack Workstation Monitoring (Licensed) (サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象)) > Dell Monitoring Feature Tasks (Dell 監視機能タスク)** から選択できます。

容量計画

Dell **サーバ容量チェック** ユニット監視を使用すると、サーバの使用率が設定した容量しきい値を超えているかどうかを監視できます。Dell **サーバ容量チェック** ユニット監視では、各サーバでの過去 1 日のシステム使用率または CUPS 使用率の平均値と、設定した容量しきい値とを比較して監視します。デフォルトで、このユニット監視は **Disabled (無効)** に設定されています。Dell **サーバ容量チェック** ユニット監視を有効にするには、「**Dell サーバ容量チェック** ユニット監視の有効化」を参照してください。

最小しきい値は 1、最大しきい値は 99 です。デフォルトしきい値は 60 です。しきい値は指定の範囲内 (1 ~ 99) で設定できます。指定の範囲外のしきい値を設定した場合は、しきい値はデフォルト値にリセットされます。

過去 1 日のシステム使用率または CUPS 使用率の平均値が、設定したしきい値を超えると、サーバごとに警告イベントが生成されます。過去 1 日のシステム使用率または CUPS 使用率の平均値が、設定したしきい値内に戻ると、警告イベントは自動的に解決されます。

警告アラートの詳細は、**Monitoring (監視) > Dell > Alerts Views (アラートビュー) > Server and Rack Workstation Alerts (サーバおよびラック型ワークステーションのアラート)** の下の **Alert Details (アラートの詳細)** ペインで確認できます。

Dell サーバ容量チェックユニット監視で取得した正常性状態は、**Monitoring (監視) > Dell > State Views (状態ビュー) > Server and Rack Workstation Alerts (Licensed) (サーバおよびラック型ワークステーションアラート (ライセンス対象)) > Dell Server Capacity Threshold Check (Dell サーバ容量しきい値チェック)** の順にクリックして確認できます。**Diagram Views (ダイアグラムビュー)** の **Dell Server (Dell サーバ)** オブジェクトで、**Dell Server Capacity Threshold Check (Dell サーバ容量しきい値チェック)** コンポーネントを確認することもできます。

① メモ: デフォルトでは、**State Views (状態ビュー)** の **Dell Server Capacity Threshold Check (Dell サーバ容量しきい値チェック)** 列は無効です。

容量計画機能では、1 日の平均 SYS 使用率の傾向を示すパフォーマンスグラフも提供されます。

容量計画機能のパフォーマンスグラフを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 **Monitoring (監視) > Dell > Performance and Power Monitoring Views (パフォーマンスおよび電源監視ビュー) > System Board Usage (システム基板の使用率) > Overall System Usage (%) (システム全体の使用率 (%))** の順にクリックします。
- 2 目的の Dell デバイスの **Counter (カウンタ)** 列から **Capacity Check System Board Average Sys Usage (last day) (容量チェックシステム基板 SYS 使用率 (過去 1 日))** を選択し、必要な値の時間範囲を選択します

。収集されるデータは、選択した Dell デバイスについて図形式で表示されます。

この機能は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能で iDRAC と iSM の両方の方法によって検出されたサーバに対して使用できます。

Dell サーバ容量チェックユニット監視の有効化

本項では、Dell サーバ容量チェックユニット監視を有効にする方法について説明します。Dell サーバ容量チェックユニット監視を有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**Authoring (オーサリング)** をクリックします。
- 2 **Management Pack Objects (管理パックオブジェクト) > Monitors (監視)** の順にクリックし、**Look for: (次を検索 :)** フィールドで **Dell Server Capacity Check (Dell サーバ容量チェック)** を検索します。
- 3 **Entity Health (エンティティ正常性) > Availability (可用性)** の順にクリックします。
- 4 **Dell Server Capacity Check (Dell サーバ容量チェック)** を右クリックして、**Overrides (上書き) > Override the Monitor (監視の上書き) > For all objects of class: Dell Server Capacity Threshold Check (クラス : Dell サーバ容量しきい値チェックの全オブジェクト)** の順に選択します。

上書きプロパティ画面が表示されます。

- 5 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
- 6 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択** : ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または **新規...** をクリックして管理パックを作成します。

新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。

- a **新規...** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
- b **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、Technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。

- c **作成** をクリックします。

宛先の管理パックの選択 : ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。

- 7 **適用** をクリックします。

iDRAC による障害発生 CMC の検出

この機能を使用すると、障害が発生した CMC の iDRAC 検出で、ラックスタイル管理 (RSM) 対応のモジュラーサーバの iDRAC が、故障したシャーシコントローラまたは使用できないシャーシコントローラを検出します。この機能を使用することで、直ちに是正措置を取って、障害が発生した CMC を正常な状態にすることができます。

Dell Chassis Controller Sensor (Dell シャーシコントローラセンサー) は CMC の存在やエラーを示します。

ユニット監視 **Dell Chassis Controller Sensor (Dell シャーシコントローラセンサー)** で取得した正常状態は、**Diagram Views (ダイアグラムビュー)** の **Sensors (センサー)** で確認できます。

① メモ:

- **Dell Chassis Controller Sensor (Dell シャーシコントローラセンサー)** は、拡張可能管理パックおよび詳細管理パックのどちらからでも利用できます。
- iDRAC による障害発生 CMC の検出は、PowerEdge FX2 シャーシの第 13 世代と第 14 世代でサポートされています。

サーバポートの接続情報

サーバポートの接続情報機能は、スイッチポートからサーバポートへの物理的なマッピングと、iDRAC 専用ポートの接続に関し、詳細情報を提供します。この機能を使用すると、サーバのネットワークポートに接続されているスイッチポート、および iDRAC 専用ポートが識別できるので、ケーブル接続に関するエラーがデバッグしやすくなります。

サーバポートの接続情報の詳細は、**Diagram View (ダイアグラムビュー)** の **Detail View (詳細ビュー)** ペインに表示される **iDRAC NIC** オブジェクトと **NIC** オブジェクトで確認できます。各 NIC のインベントリ情報と共に、スイッチのシャーシ ID 情報と、ポート ID 情報が入力されています。

この機能は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能で iDRAC と iSM の両方の方法によって検出されたサーバに対して使用できます。

- ① **メモ:** この機能は、PowerEdge サーバの第 14 世代でのみサポートされます。

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能のための Dell ユニット監視

監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 14. サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト	ユニット監視
Dell サーバー	
Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
Dell サーバーユニット監視	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell サーバー電源装置	
Dell サーバー電源装置ユニット	定期的
Dell サーバードプロセッサグループ	
Dell サーバードプロセッサグループ	定期的
Dell サーバシャーシコントローラセンサー	
Dell サーバシャーシコントローラセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラ	
Dell サーバーストレージコントローラ	定期的
Dell サーバードコントローラバッテリー	
Dell サーバードコントローラバッテリーユニット	定期的
Dell バッテリセンサー	
Dell サーバードバッテリセンサーの正常性	定期的
Dell バッテリセンサーグループ	
Dell サーバードバッテリグループセンサーの正常性	定期的
Dell 電流センサー	
Dell サーバード電流センサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサー	
Dell サーバードファンセンサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサーグループ	
Dell サーバードファングループセンサーの正常性	定期的
Dell インテリジェントセンサー	
Dell サーバードインテリジェントセンサーの正常性	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー (オペレーティングシステムあり)	
Dell サーバード Run As アカウント関連	定期的
Dell サーバードユニット監視	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー (オペレーティングシステムなし)	

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モニタリングサーバー（オペレーティングシステムあり）		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モニタリングサーバー（オペレーティングシステムなし）		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell ネットワークインタフェースグループ		
	Dell サーバーネットワークインタフェースグループ	定期的
Dell iDRAC ネットワークインタフェース		
	Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェースユニット	定期的
Dell サーバ容量しきい値チェック		
	Dell サーバ容量しきい値チェック	定期的
Dell サーバーホスト NIC		
	Dell サーバーホスト NIC	定期的
Dell サーバーライセンス		
	Dell サーバーライセンス	定期的
Dell サーバーライセンスグループ		
	Dell サーバーライセンスグループ	定期的
物理ネットワークインタフェース		
	Dell サーバーネットワークインタフェースユニット	定期的
PCIe SSD バックプレーン		
	Dell サーバー PCIe SSD バックプレーン	定期的
PCIe SSD エクステンダ		
	Dell サーバー PCIe SSD エクステンダ	定期的

オブジェクト	ユニット監視
PCIe SSD 物理ディスク	
Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクの予測障害ディスク	定期的
Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクのプライマリステータス	定期的
Dell サーバー SD カード	
Dell サーバー SD カード	定期的
Dell サーバー SD カードグループ	定期的
Dell サーバーコネクタエンクロージャ	
Dell サーバーコネクタエンクロージャ	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ EMM	
Dell サーバーエンクロージャ EMM	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー	
Dell サーバーエンクロージャファンセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ物理ディスク	
Dell サーバーエンクロージャ外部物理ディスク	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ電源装置	
Dell サーバーエンクロージャ電源装置	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー	
Dell サーバー温度センサー	定期的
Dell ストレージコントローラ内部物理ディスク	
Dell サーバー内部物理ディスクユニット	定期的
Dell ストレージコントローラ物理ディスク	
Dell サーバーコントローラダイレクトアタッチド物理ディスク	定期的
Dell ストレージグループ	
Dell サーバーストレージ	定期的
Dell ストレージ仮想ディスク	
Dell サーバーコントローラ仮想ディスクユニット	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell 温度センサー	
Dell サーバー温度センサーの正常性	定期的
Dell 温度センサーグループ	
Dell サーバー温度センサグループの正常性	定期的
Dell 電圧センサー	
Dell サーバー電圧センサーの正常性	定期的
Dell 電圧センサーグループ	
Dell サーバーセンサー電圧グループ	定期的

ルール

この項では、サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能に固有のルールの一覧を示します。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite は、Dell サーバのルールを処理します。

Dell サーバー

サーバおよびラックの監視（ライセンス対象）機能を使用して検出された Dell サーバに対するすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 =「Dell サーバー IP」
- OID = トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップイベントプロバイダ

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能を使用したタスクの実行

次の表に、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能を使用して実行できるタスクの概要を示します。

表 15. サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能を使用して検出される Dell タスクの概要

タスク	説明
ノードインタフェースのチェック	選択した Dell サーバとそれに対応するインタフェースに対して WS-MAN または SNMP が到達可能か到達不能かを確認します。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。 ① メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。 ① メモ: Dell License Manager の起動は、管理ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムがインストールされており、Dell License Manager もインストールされている場合にのみ可能です。
Dell OpenManage Power Center の起動	選択したシステムの OpenManage Power Center コンソールを起動します。 ① メモ: OpenManage Power Center の起動は、Windows または Linux オペレーティングシステム、OpenManage Server Administrator、および OpenManage Power Center が管理ノードにインストールされている場合にのみ可能です。
Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバ) の起動	選択したシステム向けの OpenManage Server Administrator コンソールを起動します。 ① メモ: OpenManage Server Administrator の起動は、管理ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。
Dell Remote Access Console の起動	ライセンスベースで検出された Dell サーバおよびラック型ワークステーション用の iDRAC コンソールを起動します。
Remote Desktop (モノリシックサーバ) の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。 ① メモ: リモートデスクトップの起動は、管理ノードに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。

Dell サーバータスク

ノードインタフェースのチェック

Check Node Interfaces (ノードインタフェースのチェック) は、選択した Dell サーバとそれに対応するインタフェースに対して WS-MAN または SNMP が到達可能か到達不能かを確認するタスクです。

ノードインタフェースをチェックするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 Dell **Diagram Views (ダイアグラムビュー)** と **State Views (状態ビュー)** のいずれかで目的の Dell サーバを選択するか、**Alerts Views (アラートビュー)** でアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Server Tasks (Dell サーバタスク)** > **Check Node Interfaces (ノードインタフェースのチェック)** の順に選択します。

このタスクは、到達可能性チェックの概要を表示し、インタフェースについてはタスクが正常に完了してからチェックします。

保証情報の取得

このタスクを使用して、選択した Dell サーバの保証ステータスを確認できます。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell サーバータスク** > **保証情報の取得** と選択します。

Dell License Manager の起動

Launch Dell License Manager (Dell License Manager の起動) タスクでは、管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンス用の一対多でのライセンス展開およびレポート実行ツールです。

① **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager 起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **Task (タスク)** ペインで、**Dell Server Tasks (Dell サーバタスク)** > **Launch Dell License Manager (Dell License Manager の起動)** の順に選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

① **メモ:** OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

Dell OpenManage Power Center の起動 タスクでは、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Server Tasks (Dell サーバタスク)** > **Launch Dell OpenManage Power Center (Dell OpenManage Power Center の起動)** の順に選択します。

Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバー) の起動

- ① **メモ:** OpenManage Server Administrator (OMSA) の起動は、管理ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

OpsMgr コンソールから OMSA を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Server Tasks (Dell サーバタスク)** > **Launch Dell OpenManage Server Administrator (Monolithic Server) (Dell OpenManage Server Administrator (モノリシックサーバ) の起動)** の順に選択します。

- ① **メモ:** Dell EMC Server Management Pack Suite タスクにより、Internet Explorer でリモートコンソールが起動されます。

Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **Task (タスク)** ペインで、**Dell Server Tasks (Dell サーバタスク)** > **Launch Dell Remote Access Console (Dell Remote Access Console の起動)** の順に選択します。

リモートデスクトップの起動 (モノリシックサーバー)

- ① **メモ:** リモートデスクトップの起動は、管理下システムに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。

- ① **メモ:** リモートデスクトップタスクは、ホスト名を使用してシステムの管理サーバーに接続します。管理サーバーがホスト名を解決できない場合は、管理サーバーで設定されているホスト名を使用して、サーバーへのルートにホスト名と IP アドレスを追加します。

OpsMgr コンソールからリモートデスクトップを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **リモートデスクトップの起動 (モノリシックサーバー)** を選択します。

WMI を使用した iSM

このセクションでは、Windows Management Instrumentation (WMI) を使用して iSM で Dell デバイスを監視して、対応 Dell デバイスから詳細を取得する方法について説明します。

このオプションは、第 12、13、および 14 世代 PowerEdge サーバおよびサポート対象 Dell Precision ラック型ワークステーションの、拡張可能なインベントリと監視を提供します。サポート対象のプラットフォームの詳細に関しては、Dell.com/manuals の『iDRAC サービスモジュールインストールガイド』を参照してください。これは、ライセンス付きの機能です。

前提条件が満たされている場合、Dell EMC Server Management Pack Suite インストーラは、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能を自動的にインポートします。

拡張可能エディションと詳細エディションの機能の比較

次の表は、iSM で検出されたデバイスに対して拡張可能エディション機能と詳細エディションを使用できる環境を把握するのに役立ちます。これらのデバイスは OpsMgr コンソールで **Servers (iSM) (サーバ (iSM))** として分類されます。

表 16. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
サーバー (iSM)	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントまでのインベントリ。 サーバ、ラック型ワークステーション、およびコンポーネントグループレベルでの正常性監視。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。 電源、温度、エネルギーのメトリクス、ネットワークインタフェースカード、プロセッサ、メモリ、1秒あたりのコンピューティング使用量 (CUPS)、PCIe SSD 摩耗率、および IO パフォーマンスメトリクスの表示。

検出とグループ化

Dell EMC Server Management Pack Suite により、Dell サーバの検出および分類ができるようになります。

次の表は、WMI を使用した iSM からのサーバーおよびラックの監視 (ライセンス対象) 機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 17. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell サーバー	Dell モノリシックサーバー Dell モジュラーサーバー Dell Sled グループ	PowerEdge サーバ
Dell ラック型ワークステーション	ラック型ワークステーションダイアグラム	Dell Precision ラック型ワークステーション

OpsMgr での Dell サーバの検出

WMI を使用した iSM から Dell デバイスを検出する前に、次の前提条件を満たしているようにします。

- 必要なバージョンの iSM が管理ノードにインストールされている。
 - メモ:** Microsoft Nano サーバを実行しているシステムで WMI 機能を使用して iSM からデバイスを監視している場合は、[Dell.com/support](#) の『iDRAC サービスモジュールインストールガイド』の「Nano オペレーティングシステムへの iDRAC サービスモジュールのインストール」の項を参照してください。
- Windows Management Instrumentation (WMI) 機能がホストで有効に設定されている。
詳細については、[Dell.com/idracmanuals](#) で『Integrated Dell Remote Access Controller 7/8/9 with Lifecycle Controller ユーザーズガイド』の「Windows Management Instrumentation プロバイダ」の項を参照してください。
- Feature Management Dashboard で、**エージェントプロキシを有効するタスク**が、サーバおよびラック型ワークステーション (ライセンス対象) の監視機能のため実行されている。

Dell サーバは、OpsMgr エージェント管理インフラストラクチャを介して検出されます。

- メモ:** Dell サーバは、OpsMgr コンソールの Administration (管理) セクションにある Agent Managed (エージェント管理対象) ビューで検出します。

Dell サーバを検出するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr 管理者として管理サーバにログオンします。
- 2 OpsMgr コンソールで、**Administration (管理)** をクリックします。
- 3 ナビゲーションペイン下部の **Discovery Wizard (検出ウィザード)** をクリックします。
- 4 **Discovery Wizard (検出ウィザード)** を実行し、**Windows computers (Windows コンピュータ)** を選択して、画面上の指示に従います。詳細に関しては、Technet.microsoft.com にある OpsMgr のマニュアルを参照してください。

① **メモ:** インストーラは、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能の管理パックを OpsMgr に自動でインポートします。インストーラが管理パックのインストールに失敗した場合は、OpsMgr の Import Management Packs (管理パックのインポート) ウィザード、または Feature Management Dashboard (機能管理ダッシュボード) を使用して管理パックをインポートしてください。

検出済みデバイスは、次の図に示すように **Servers (iSM) (サーバ (iSM))** の **State Views (状態ビュー)** の下に表示されます。

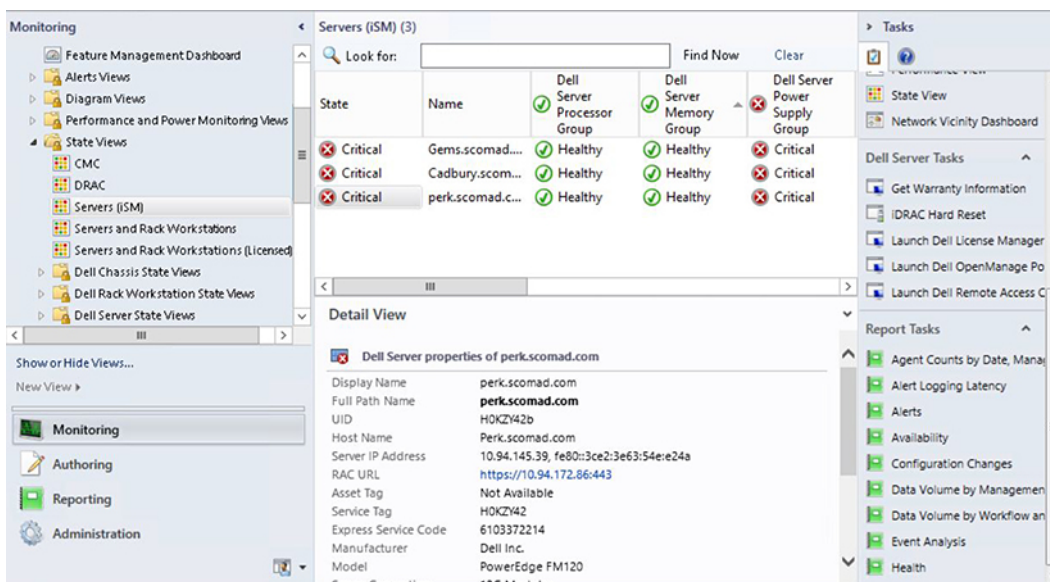


図 3. サーバ (iSM)

iDRAC サービスモジュール (iSM) から Dell サーバが初めて検出されると、Dell Server (iSM) informational alert が生成されます。これは 1 回限りのアラートです。

WMI を使用した iSM のオブジェクトの検出

表 18. WMI を使用した iSM から検出されたオブジェクト

検出オブジェクト	説明
Dell サーバ検出	Dell サーバを分類し、重要な属性およびコンポーネントにデータを投入します

監視

OpsMgr の **Monitoring (監視)** ペインは、検出された Dell サーバの正常性情報を表示するビューを選択するために使用されます。[重要度レベルのインジケータ](#)は、ネットワーク上の Dell サーバの正常性を示すのに役立ちます。

これには、一定間隔とイベント発生時の両方に対する、モジュラーおよびモノリシックサーバと Dell Precision ラック型ワークステーションのグループレベルでの正常性の監視が含まれます。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、iSM で検出されたサーバの拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 19. 監視対象ハードウェアコンポーネント - 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
バッテリーセンサーグループ	有	有
バッテリーセンサー	無	有
BIOS インスタンス	無	無
電流センサーグループ	無	無
電流センサー	無	無
ファンセンサーグループ	有	有
ファンセンサー	無	有
iDRAC	無	無
ホスト NIC グループ	有	有
ホスト NIC	無	有
iDRAC ライセンスグループ	有	有
iDRAC ライセンス	無	有
iDRAC ネットワークインタフェース	有	有
イントルージョンセンサーグループ	有	有
イントルージョンセンサー	無	有
メモリグループ	有	有
メモリインスタンス	無	有

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
ネットワークインタフェースグループ	有	有
ネットワークインタフェース	無	有
PCIe SSD バックプレーン	無	有
PCIeSSD 物理ディスク	無	有
PCIe SSD エクステンダ	無	有
プロセッサグループ	有	有
プロセッサインスタンス	無	有
電源装置グループ	有	有
電源装置インスタンス	無	有
SD カードグループ	有	有
SD カード	無	有
ストレージグループ	有	有
ストレージコントローラ	無	有
ストレージコントローラバッテリーグループ	無	有
ストレージコントローラバッテリー	無	有
ストレージネクタに内部/外部/直接接続された物理ディスクグループ	無	有
ストレージコントローラに内部/外部/直接接続された物理ディスクインスタンス	無	有
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサーグループ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー	無	有
ストレージコントローラエンクロージャのインスタンス	無	有
ストレージコントローラセンサー	無	有
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	無	有
ストレージコントローラ仮想ディスク	無	有
ストレージエンクロージャ EMM インスタンス	無	有
ストレージエンクロージャ電源装置グループ	無	有

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
ストレージエンクロージャ電源装置	無	有
ストレージエンクロージャセンサー	無	有
ストレージエンクロージャ温度センサー	無	有
ストレージエンクロージャ温度センサーグループ	無	有
チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス	無	無
センサーグループ	有	有
温度センサーグループ	有	有
温度センサー	無	有
電圧センサーグループ	有	有
電圧センサー	無	有

ビュー

Dell EMC Server Management Pack Suite は、OpsMgr コンソールの **Monitoring (監視)** > **Dell** で、監視用に次のタイプのビューを提供します。

- アラートビュー
- ダイアグラムビュー
- パフォーマンスおよび電源監視ビュー
- 状態ビュー

アラートビュー

このビューは、Dell サーバおよびラック型ワークステーションからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。次のアラートが表示されます。

- Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受け取ったイベントのリンクアップまたはリンクダウンアラート。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでアラートを表示するには、次の手順を実行します。

- OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
- Dell > アラートビュー** とクリックします。

次のアラートが表示されます。

- ネットワークインタフェースアラート** — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
- Server and Rack Workstation Alerts (サーバおよびラック型ワークステーションアラート)** - iDRAC7、iDRAC8、または iDRAC9 を装備した第 12、13、および 14 世代の PowerEdge サーバ、PowerVault ストレージサーバ、および Dell Precision ラックについて、SNMP トラップが表示されます。

- **Dell ラック型ワークステーションのアラートビュー**
 - **Network Interface Alerts (ネットワークインタフェースアラート)** - 検出された NIC からのリンクアップアラートおよびリンクダウンアラートが表示されます。
 - **ラック型ワークステーションのアラート**
- 3 任意の **アラートビュー** を選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
 - 4 **アラートの詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、ネットワーク上のすべての Dell サーバーおよび対応ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムビューの表示

OpsMgr コンソールでダイアグラムビューを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**監視 > Dell > ダイアグラムビュー** とクリックします。
- 2 次のビューの **ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。
 - **完全ダイアグラムビュー**
 - **Dell ラック型ワークステーションダイアグラムビュー**
 - **ラック型ワークステーションダイアグラム**
 - **Dell サーバーダイアグラムビュー**
 - **モジュラーシステムダイアグラム**
 - **モノシックサーバーダイアグラム**
 - **Sled サーバーダイアグラム**
- 3 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell サーバーまたはラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。
- 4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

WMI を使用して iSM で検出された Dell サーバのダイアグラムビュー。

次の図は、WMI を使用した iSM から検出されたサーバーをダイアグラムビューで示しています。

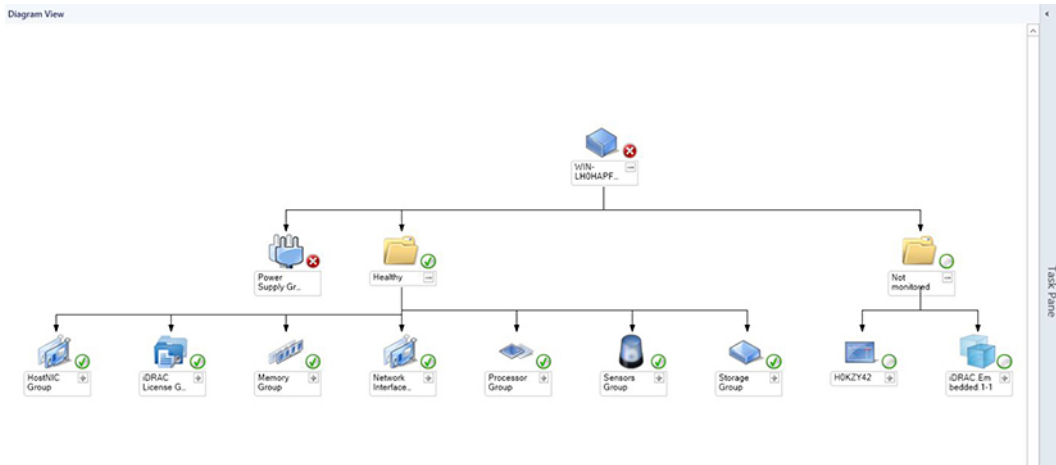


図 4. サーバー (iSM) のダイアグラム

完全ダイアグラムビュー

Complete Diagram View (完全ダイアグラムビュー) には、OpsMgr で検出され、監視されている、すべてのサポート対象 Dell デバイスが、図により表示されます。**OpsMgr** では、個々のデバイスとそのコンポーネントのステータスを展開して確認することができます。以下の詳細を表示できます。

- モジュラーおよびモリシックサーバ
- Dell Sled グループ
- Dell ラック型ワークステーション
- Chassis Management Controller
- Remote Access Controller
- Dell 管理対象外システム

ラック型ワークステーションダイアグラム

Dell ラックワークステーションダイアグラムビュー には、すべての対応ラック型ワークステーションの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスおよびコンポーネントを展開してステータスを確認することができます。ダイアグラムのラックワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインにその詳細を表示してください。

モジュラーおよびモリシックシステム

モジュラーシステムダイアグラム および **モリシックサーバダイアグラム** ビューには、次の詳細情報が表示されます。

- ネットワークインタフェースグループ
- メモリグループ
- 電源装置グループ
- センサーグループ
- プロセッサグループ
- ストレージコンポーネントグループ
- BIOS
- iDRAC
- ホスト NIC グループ

- SD カードグループ
- iDRAC ライセンスグループ

モジュラーシステムダイアグラム

Modular Systems Diagram View (モジュラーシステムのダイアグラムビュー) には、すべてのモジュラーシステムが、図により表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやそのコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

モノリシックサーバーダイアグラム

Monolithic Systems Diagram View (モノリシックサーバのダイアグラムビュー) には、すべてのモノリシックシステムが、図により表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Sled サーバーダイアグラム

Sled Servers Diagram View (Sled サーバダイアグラムビュー) には、すべての Sled システムが、図により表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内の Sled サーバを選択して、**Detail View (詳細ビュー)** ページに詳細を表示します。

Dell サーバーインスタンスダイアグラム

Modular System (モジュラーシステム) または **Monolithic Server (モノリシックサーバ)** のダイアグラムビューから Dell サーバを選択し、特定のシステムに固有のダイアグラムを表示します。

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- ネットワークインタフェースグループ
- メモリグループ
- 電源装置グループ
- センサーグループ
- プロセッサグループ
- ストレージコンポーネントグループ
- ホスト NIC グループ
- iDRAC ライセンスグループ
- PCIe/ SSD グループ
- SD カードグループ
- BIOS (インベントリのみ)
- iDRAC

パフォーマンスおよび電源監視ビュー

① メモ:

- システム基板の使用率メトリクスは、第 13 世代の PowerEdge サーバの一部でのみサポートされます。パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、「[パフォーマンスコレクションルール](#)」を参照してください。デフォルトでは、Dell Server Performance ルールは「Disabled (無効)」に設定されています。
- Dell Performance View (Dell パフォーマンスビュー)** には、CPU やメモリのパフォーマンス、I/O 使用率、およびシステムレベルの CUPS というインデックスが、図形式で表示されます。

パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

- OpsMgr コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
- 監視** ペインで、**Dell > パフォーマンスおよび電源監視** をクリックして、以下のビューを表示します。
 - Dell パフォーマンスビュー (ISM)**
 - ディスクパフォーマンス - ISM (%)**

① **メモ:** すべてのパフォーマンスメトリックルールは、サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能に対してデフォルトでは無効に設定されています。

- System Board Usage (システム基板の使用率)** メトリックを表示するには、**Performance and Power Monitoring (パフォーマンスおよび電源監視) > System Board Usage (システム基板の使用率)** の順にクリックして、次のビューを表示します。
 - CPU 使用率 - ISM (%)**
 - IO 使用率 - ISM (%)**
 - メモリ使用率 - ISM (%)**
 - システム全体の使用率 - ISM (%)**
- 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。
収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2 つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、設定した重要なしきい値を超過するかどうかをチェックします。重要なしきい値を超過すると、サーバが状態を変更して重要アラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、OpsMgr コンソールの **Authoring (オーサリング)** ペインで上書き (有効化) することができます。ユニット監視は、ライセンス対象の監視機能の **Dell Server (Dell サーバ)** オブジェクトで使用できます。ユニット監視を有効にして、ユニット監視のしきい値を設定するには、「[パフォーマンスおよび電源監視ユニット監視の有効化](#)」を参照してください。

パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、「[パフォーマンスコレクションルール](#)」を参照してください。

パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化

パフォーマンスおよび電源監視ビューのユニット監視を有効にするには、次の手順を実行します。

- OpsMgr コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
 - 管理バックオブジェクト > 監視** をクリックし、**次を検索** : フィールドで **パフォーマンス** を検索します。
 - Dell サーバ > パフォーマンス** をクリックします。
 - 有効にしたいユニット監視を右クリックします。
 - 上書き > 監視の上書き** と選択し、要件に応じてオプションを選択します。
例えば、クラス : Dell サーバのすべてのオブジェクトに対するユニット監視を上書きするには、**クラス : Dell サーバの全オブジェクト** を選択します。
- 上書きプロパティ** 画面が表示されます。
- 有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。

- 7 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択** : ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または **新規...** をクリックして管理パックを作成します。
新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。
 - a **新規...** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
 - b **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
 - c **作成** をクリックします
宛先の管理パックの選択 : ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
- 8 **適用** をクリックします。

状態ビュー

このビューは、すべての Dell サーバとサポート対象のラック型ワークステーションの正常性を表示するために使用できます。OpsMgr コンソールで、**Monitoring (監視) > Dell > State Views (状態ビュー)** の順にクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理される各 Dell サーバおよびラック型ワークステーションのステータスが表示されます。

次のグループのステータスを表示することができます。

- **サーバー (iSM)**
- **Dell サーバ状態ビュー**
 - **Sled サーバ (iSM)**

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。**重要度レベルのインジケータ**では、各種状況コンポーネントについて説明します。状況コンポーネントは、それに対応する重要度レベルに対して、Dell EMC Server Management Pack Suite で使用されます。

サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能の主要機能

本項には、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能で検出されたサーバの主要機能がリストされています。

- **システム構成ロックダウンモード**
- **iDRAC グループマネージャ**
- **イベントの自動解決**
- **容量計画**
- **iDRAC による障害発生 CMC の検出**
- **サーバポートの接続情報**

システム構成ロックダウンモード

システム構成ロックダウンモードは、第 14 世代の PowerEdge サーバに対して iDRAC で利用できる機能であり、ファームウェアのアップデートを含むシステムの構成をロックします。この機能は、意図しない変更からシステムを保護するためのものです。iDRAC コンソールを使用して、システム構成ロックダウンモードを有効または無効にすることができます。システム構成ロックダウンモードが有効になると、システムの構成を変更することはできません。

Diagram View (ダイアグラムビュー) の **Detail View (詳細ビュー)** ペインで、システム構成ロックダウンモードの詳細を確認できます。この機能の詳細については、『*Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 User's Guide (Integrated Dell Remote Access Controller 9 バージョン 3.00.00.00 ユーザーズガイド)*』を参照してください。

この機能は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能で iDRAC と iSM の両方の方法によって検出されたサーバに対して使用できます。

iDRAC グループマネージャ

iDRAC グループマネージャ機能は、第 14 世代 PowerEdge サーバで利用でき、同じローカルネットワーク上の iDRAC および関連サーバの基本的な管理を簡素化します。グループマネージャ機能により、別のアプリケーションを使用せずに 1 対多コンソールを使用できます。iDRAC グループマネージャを使用することで、サーバの障害を目視で検査するなどの手動方式よりも強力な管理が可能になり、ユーザーは一連のサーバの詳細を確認できます。

iDRAC グループマネージャ、iDRAC グループマネージャの状態、および iDRAC グループ名の詳細は、**Diagram View（ダイアグラムビュー）** の **Detail View（詳細ビュー）** ペインに表示される **iDRAC オブジェクト** で確認できます。この機能の詳細については、『*Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 User's Guide*（Integrated Dell Remote Access Controller 9 バージョン 3.00.00.00 ユーザーズガイド）』を参照してください。

この機能は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能で iDRAC と iSM の両方の方法によって検出されたサーバに対して使用できます。

容量計画

Dell サーバ容量チェックユニット監視を使用すると、サーバの使用率が設定した容量しきい値を超えているかどうかを監視できます。Dell サーバ容量チェックユニット監視では、各サーバでの過去 1 日のシステム使用率または CUPS 使用率の平均値と、設定した容量しきい値とを比較して監視します。デフォルトで、このユニット監視は **Disabled（無効）** に設定されています。Dell サーバ容量チェックユニット監視を有効にするには、「[Dell サーバ容量チェックユニット監視の有効化](#)」を参照してください。

最小しきい値は 1、最大しきい値は 99 です。デフォルトしきい値は 60 です。しきい値は指定の範囲内（1～99）で設定できます。指定の範囲外のしきい値を設定した場合は、デフォルトのしきい値と見なされます。

過去 1 日のシステム使用率または CUPS 使用率の平均値が、設定したしきい値を超えると、サーバごとに警告イベントが生成されます。過去 1 日のシステム使用率または CUPS 使用率の平均値が、設定したしきい値内に戻ると、警告イベントは自動的に解決されます。

警告アラートの詳細は、**Monitoring（監視） > Dell > Alerts Views（アラートビュー） > Server and Rack Workstation Alerts（サーバおよびラック型ワークステーションのアラート）** の下の **Alert Details（アラートの詳細）** ペインで確認できます。

Dell サーバ容量チェックユニット監視で取得した正常性状態は、**Monitoring（監視） > Dell > State Views（状態ビュー） > Servers (iSM)（サーバ (iSM)） > Dell Server Capacity Threshold Check（Dell サーバ容量しきい値チェック）** の順にクリックして確認できます。Dell Server Capacity Threshold Capacity Check(Dell サーバ容量しきい値チェック) コンポーネントは、**Diagram Views(ダイアグラムビュー)** の **Dell Server Capacity（Dell サーバ容量）** オブジェクトで確認することもできます。

容量計画機能では、1 日の平均 SYS 使用率の傾向を示すパフォーマンスグラフも提供されます。

容量計画機能のパフォーマンスグラフを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 **Monitoring（監視） > Dell > Performance and Power Monitoring Views（パフォーマンスおよび電源監視ビュー） > System Board Usage（システム基板の使用率） > Overall System Usage - iSM (%)（システム全体の使用率 - iSM (%)）** の順にクリックします。
- 2 目的の Dell デバイスの **Counter（カウンタ）** 列から **Capacity Check System Board Average Sys Usage(last day)（容量チェックシステム基板 SYS 使用率（過去 1 日））** を選択し、必要な値の時間範囲を選択します

。収集されるデータは、選択した Dell デバイスについて図形式で表示されます。

この機能は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能で iDRAC と iSM の両方の方法によって検出されたサーバに対して使用できます。

iDRAC による障害発生 CMC の検出

この機能を使用すると、障害が発生した CMC の iDRAC 検出で、ラックスタイル管理 (RSM) 対応のモジュラーサーバの iDRAC が、故障したシャーシコントローラまたは使用できないシャーシコントローラを検出します。この機能を使用することで、直ちに是正措置を取って、障害が発生した CMC を正常な状態にすることができます。

Dell Chassis Controller Sensor (Dell シャーシコントローラセンサー) は CMC の存在やエラーを示します。

ユニット監視 **Dell Chassis Controller Sensor (Dell シャーシコントローラセンサー)** で取得した正常状態は、**Diagram Views (ダイアグラムビュー)** の **Sensors (センサー)** で確認できます。

① メモ:

- **Dell Chassis Controller Sensor (Dell シャーシコントローラセンサー)** は、拡張可能管理パックおよび詳細管理パックのどちらからでも利用できます。
- iDRAC による障害発生 CMC の検出は、PowerEdge FX2 シャーシの第 14 世代でのみサポートされています。

サーバポートの接続情報

サーバポートの接続情報機能は、スイッチポートからサーバポートへの物理的なマッピングと、iDRAC 専用ポートの接続に関し、詳細情報を提供します。この機能を使用すると、サーバのネットワークポートに接続されているスイッチポート、および iDRAC 専用ポートが識別できるので、ケーブル接続に関するエラーがデバッグしやすくなります。

サーバポートの接続情報の詳細は、**Diagram View (ダイアグラムビュー)** の **Detail View (詳細ビュー)** ペインに表示される **iDRAC NIC** オブジェクトと **NIC** オブジェクトで確認できます。各 NIC のインベントリ情報と共に、スイッチのシャーシ ID 情報と、ポート ID 情報が入力されています。

この機能は、サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能で iDRAC と iSM の両方の方法によって検出されたサーバに対して使用できます。

① **メモ:** この機能は、PowerEdge サーバの第 14 世代でのみサポートされます。

サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (iSM) 機能のための Dell ユニット監視

監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 20. サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (iSM) 機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト	ユニット監視
Dell サーバ	
Dell サーバ Run As アカウント関連	定期的
Dell サーバユニット監視	定期的
Dell サーバ電源装置	
Dell サーバ電源装置ユニット	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell サーバードプロセッサグループ	
Dell サーバードプロセッサグループ	定期的
Dell サーバシャーシコントローラセンサー	
Dell サーバシャーシコントローラセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラ	
Dell サーバードストレージコントローラ	定期的
Dell サーバードコントローラバッテリー	
Dell サーバードコントローラバッテリーユニット	定期的
Dell バッテリセンサー	
Dell サーバードバッテリーセンサーの正常性	定期的
Dell バッテリセンサーグループ	
Dell サーバードバッテリーグループセンサーの正常性	定期的
Dell 電流センサー	
Dell サーバード電流センサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサー	
Dell サーバードファンセンサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサーグループ	
Dell サーバードファングループセンサーの正常性	定期的
Dell インテルージョンセンサー	
Dell サーバードインテルージョンセンサーの正常性	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー (オペレーティングシステムあり)	
Dell サーバード Run As アカウント関連	定期的
Dell サーバードユニット監視	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー (オペレーティングシステムなし)	
Dell サーバード Run As アカウント関連	定期的
Dell サーバードユニット監視	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell モニリックサーバー（オペレーティングシステムあり）	
Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モニリックサーバー（オペレーティングシステムなし）	
Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell ネットワークインタフェースグループ	
Dell サーバーネットワークインタフェースグループ	定期的
Dell iDRAC ネットワークインタフェース	
Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェースユニット	定期的
Dell サーバ容量しきい値チェック	
Dell サーバ容量しきい値チェック	定期的
Dell サーバーホスト NIC	
Dell サーバーホスト NIC	定期的
Dell サーバーライセンス	
Dell サーバーライセンス	定期的
Dell サーバーライセンスグループ	
Dell サーバーライセンスグループ	定期的
物理ネットワークインタフェース	
Dell サーバーネットワークインタフェースユニット	定期的
PCIe SSD バックプレーン	
Dell サーバー PCIe SSD バックプレーン	定期的
PCIe SSD エクステンダ	
Dell サーバー PCIe SSD エクステンダ	定期的
PCIe SSD 物理ディスク	
Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクの予測障害ディスク	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクのプライマリステータス	定期的
Dell サーバー SD カード	
Dell サーバー SD カード	定期的
Dell サーバー SD カードグループ	定期的
Dell サーバーコネクタエンクロージャ	
Dell サーバーコネクタエンクロージャ	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ EMM	
Dell サーバーエンクロージャ EMM	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー	
Dell サーバーエンクロージャファンセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ物理ディスク	
Dell サーバーエンクロージャ外部物理ディスク	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ電源装置	
Dell サーバーエンクロージャ電源装置	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー	
Dell サーバー温度センサー	定期的
Dell ストレージコントローラ内部物理ディスク	
Dell サーバー内部物理ディスクユニット	定期的
Dell ストレージコントローラ物理ディスク	
Dell サーバーコントローラダイレクトアタッチド物理ディスク	定期的
Dell ストレージグループ	
Dell サーバーストレージ	定期的
Dell ストレージ仮想ディスク	
Dell サーバーコントローラ仮想ディスクユニット	定期的
Dell 温度センサー	
Dell サーバー温度センサーの正常性	定期的

オブジェクト	ユニット監視
Dell 温度センサーグループ	
Dell サーバー温度センサーグループの正常性	定期的
Dell 電圧センサー	
Dell サーバー電圧センサーの正常性	定期的
Dell 電圧センサーグループ	
Dell サーバーセンサー電圧グループ	定期的

ルール

この項では、サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能に固有のルールの一覧を示します。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite は、Dell サーバのルールを処理します。

Dell サーバ

サーバおよびラックの監視（ライセンス対象）機能を使用して検出された Dell サーバに対するすべての情報、警告、および重要イベントには、対応するイベントルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「Lifecycle controller Log」
- イベント番号 = イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムイベントログ

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能を使用したタスクの実行

次の表に、サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能を使用して実行できるタスクの概要を示します。

表 21. サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能の iSM の方法を使用して検出されるタスクの概要

タスク	説明
ノードインタフェースのチェック	選択した Dell サーバとそれに対応するインタフェースに対して WMI が到達可能か到達不能かを確認します。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。 ① メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。
iDRAC ハードリセット	サーバをシャットダウンせずに、リモート iDRAC のリセット操作を実行します。 ① メモ: このタスクは、iSM から検出されたサーバのみで使用できます。
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。 ① メモ: Dell License Manager の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムがインストールされており、Dell License Manager もインストールされている場合にのみ可能です。
Dell OpenManage Power Center の起動	選択したシステムの Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。 ① メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理ノードに Windows または Linux オペレーティングシステム、OpenManage Server Administrator、および Dell OpenManage Power Center がインストールされている場合にのみ可能です。
Dell Remote Access Console の起動	ライセンスベースの検出された Dell サーバおよびラック型ワークステーション用の iDRAC コンソールを起動します。
Remote Desktop (モニックサーバー) の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。 ① メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下ノードに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。

ノードインタフェースのチェック

Check Node Interfaces（ノードインタフェースのチェック）は、選択した Dell サーバとそれに対応するインタフェースに対して WMI が到達可能か到達不能かを確認するタスクです。

ノードインタフェースをチェックするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 Dell **Diagram Views**（ダイアグラムビュー）と **State Views**（状態ビュー）のいずれかで目的の Dell サーバを選択するか、**Alerts Views**（アラートビュー）でアラートを選択します。
- 3 **Tasks**（タスク）ペインで、**Dell Server Tasks**（Dell サーバタスク）> **Check Node Interfaces**（ノードインタフェースのチェック）の順に選択します。

このタスクは、到達可能性チェックの概要を表示し、インタフェースについてはタスクが正常に完了してからチェックします。

保証情報の取得

このタスクを使用して、選択した Dell サーバの保証ステータスを確認できます。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク > 保証情報の取得** と選択します。

リモート iDRAC ハードリセット

この機能で管理者はサーバをシャットダウンする必要なく、リモート iDRAC のリセット操作を実行することができます。

iDRAC を使用して、重要なシステムハードウェア、ファームウェア、またはソフトウェアの問題について対応サーバを監視することができます。時折、iDRAC はさまざまな理由で応答しなくなることがあります。このような場合は、サーバをソケットから引き抜いてオフにする必要がある場合があります。その後、iDRAC がリセットされます。

リモート iDRAC のハードリセット機能を使用して、iDRAC が応答しなくなるといっても、サーバの電源をオフにする (iDRAC のハードリセット) 必要なく、リモート iDRAC のリセット操作を実行できます。デフォルトでは、リモート iDRAC ハードリセット機能は有効に設定されています。

この機能は、WMI を使用して iSM から検出されたサーバに使用できます。この機能の詳細については、『iDRAC サービスモジュールインストールガイド』と support.dell.com の『iDRAC 8/7 v2.30.30.30 ユーザーズガイド』の「**リモート iDRAC ハードリセット**」のセクションを参照してください。

リモート iDRAC ハードリセットの実行

このセクションでは、WMI を使用した iSM から検出されたデバイスのリモート iDRAC ハードリセットを実行する手順について説明します。

リモートで iDRAC をリセットするには、まずホスト OS で管理者権限があることを確認する必要があります。

リモートで iDRAC をリセットするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
- 2 **Dell > 状態ビュー > サーバ (iSM)** の順にクリックします。
状態の詳細が表示され、WMI を使用した iSM から検出されたサーバが右のペインにリストされます。
- 3 リモートで iDRAC をリセットするサーバを選択します。
- 4 右のペインに表示される **Dell サーバのタスク** のリストから、**iDRAC のハードリセット** をクリックします。
[タスクの実行 - iDRAC のハードリセット] ウィンドウが表示されます。
- 5 **実行** をクリックして確認します。
[タスクステータス - iDRAC のハードリセット] ウィンドウがリセットの状態が表示されます。
- 6 **閉じる** をクリックします。

iDRAC はリモートで正常にリセットされました。

Dell License Manager の起動

Launch Dell License Manager (Dell License Manager の起動) タスクでは、管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンス用の一対多でのライセンス展開およびレポート実行ツールです。

- ① **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「**License Manager 起動タスクの作成**」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **Task (タスク)** ペインで、**Dell Server Tasks (Dell サーバタスク)** > **Launch Dell License Manager (Dell License Manager の起動)** の順に選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

- ① **メモ:** OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

Dell OpenManage Power Center の起動 タスクでは、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Server Tasks (Dell サーバタスク)** > **Launch Dell OpenManage Power Center (Dell OpenManage Power Center の起動)** の順に選択します。

Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **Task (タスク)** ペインで、**Dell Server Tasks (Dell サーバタスク)** > **Launch Dell Remote Access Console (Dell Remote Access Console の起動)** の順に選択します。

リモートデスクトップの起動 (モノリシックサーバー)

- ① **メモ:** リモートデスクトップの起動は、管理下システムに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。
- ① **メモ:** リモートデスクトップタスクは、ホスト名を使用してシステムの管理サーバーに接続します。管理サーバーがホスト名を解決できない場合は、管理サーバーで設定されているホスト名を使用して、サーバーへのルートにホスト名と IP アドレスを追加します。

OpsMgr コンソールからリモートデスクトップを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **リモートデスクトップの起動 (モノリシックサーバー)** を選択します。

DRAC 監視機能

DRAC 監視機能は SNMP を使用して、さまざまな世代の iDRAC (iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 の各システム) の検出と監視をサポートします。

トピック :

- 検出とグループ化
- 監視
- DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視
- ルール
- タスク

検出とグループ化

Dell EMC Server Management Pack Suite により、Dell Remote Access Controllers (DRAC)、および integrated DRAC (iDRAC) の検出と分類ができるようになります。

次の表は、Dell DRAC 監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 22. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell Remote Access Controller	Remote Access Controller グループ	iDRAC モジュラー、および iDRAC モリシックインスタンス。 ⓘ メモ: DRAC 監視機能は、 <i>xx0x</i> iDRAC モジュラーコントローラの検出をサポートしません。これらのデバイスは、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能の拡張可能エディションを使用して管理することができます。

DRAC デバイスの検出

DRAC デバイスは、OpsMgr コンソールの **管理** セクションでネットワークデバイスとして検出される必要があります。DRAC デバイスを検出するには、次の手順を行います。

- 1 OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
- 2 OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
- 3 ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
- 4 **検出ウィザード** を実行し、**ネットワークデバイス** を選択して、画面上の指示に従います。詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。

- 5 OpsMgr の **デバイスコンソールの追加** 画面で、スキャンする IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 **Run As アカウント** ドロップダウンボックスから適切な **Run As アカウント** を選択します。
- 6 **Feature Management Dashboard** を使用して DRAC 監視機能を有効にします。

OpsMgr のための拡張性の推奨

分散型セットアップでの多数のネットワークデバイスの管理時に、同じ管理グループがサーバーおよびラック型ワークステーションの管理機能から検出されたデバイスの管理にも使用されている場合は、デバイスタイプごとに管理サーバーの専用リソースプールを使用してください。

DRAC 監視機能による検出

表 23. DRAC 監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
iDRAC 検出	サポートされているすべての Integrated Dell Remote Access Controller を検出します。
Dell Integrated Remote Access モジュール検出	モジュールシステム用 Dell Integrated Remote Access Controller のシャーシ名とシャーシサービスタグを検出します。
iDRAC6 モジュール検出	iDRAC6 (モジュール) グループを検出します。
iDRAC6 モノリシック検出	iDRAC6 (モノリシック) グループを検出します。
iDRAC7 モジュール検出	iDRAC7 (モジュール) グループを検出します。
iDRAC7 モノリシック検出	iDRAC7 (モノリシック) グループを検出します。
iDRAC8 モジュール検出	iDRAC8 (モジュール) グループを検出します。
iDRAC8 モノリシック検出	iDRAC8 (モノリシック) グループを検出します。
Dell Remote Access グループ検出	Dell Remote Access グループを検出し、iDRAC にデータ投入します。
Dell Integrated Remote Access モノリシックグループ検出	Dell Integrated Remote Access モノリシックグループと iDRAC (モノリシック) を検出します。
Dell Integrated Remote Access モジュールグループ検出	iDRAC (モジュール) グループを検出してデータ投入します。

監視

Dell EMC Server Management Pack Suite をインストールすると、OpsMgr の **Monitoring (監視)** ペインを使用して、検出された Dell DRAC デバイスの完全な正常性情報を表示するビューを選択することができます。DRAC 監視機能は、Dell DRAC デバイスの正常性を検出および監視します。この機能には、一定の間隔およびイベントの発生時の両方に対する Dell DRAC デバイスの正常性の監視が含まれます。**重要度レベルのインジケータ**は、ネットワーク上の Dell DRAC デバイスの正常性を示します。

- ① **メモ:** DRAC デバイスの正常性を監視するには、コミュニティ文字列 **Run As アカウント**を、**Dell Remote Access Controller クラス**またはそれぞれの **DRAC オブジェクト** (DRAC デバイスが複数あって、Run As アカウントもそれぞれ異なる場合) をターゲットとして、**SNMP 監視アカウント**と関連付けます。

ビュー

Dell EMC Server Management Pack Suite は、OpsMgr コンソールの **Dell > Monitoring (監視)** で、監視用に次のタイプのビューを提供します。

- [アラートビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状態ビュー](#)

アラートビュー

このビューは、Dell DRAC デバイスからのハードウェアイベントとストレージイベントの管理に使用することができます。DRAC デバイスによって送信された SNMP トラップおよびプラットフォームイベントトラップ (PET) が DRAC 監視機能によって表示されます。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールで DRAC アラートを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
- 2 **Dell > アラートビュー** とクリックします。
次の **アラートビュー** が表示されます。
 - **PET トラップ** - これらのアラートには iDRAC6、iDRAC7 および iDRAC8 デバイスからの PET トラップに関する情報が含まれています。
 - **リモートアクセスアラート** - これらのアラートには、iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスからの SNMP トラップに関する情報が含まれています。
- 3 **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー には、お使いのネットワーク上にあるすべての Dell DRAC デバイスの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムの表示

OpsMgr コンソールで DRAC 監視機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**監視 > Dell > ダイアグラムビュー** とクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで **ダイアグラムビュー** フォルダに移動して、次のビューを表示します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - [Remote Access Controller グループ](#)
- 3 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
- 4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Remote Access Controller グループ

Remote Access Controllers Group (Remote Access Controller グループ) ダイアグラムビューは、すべての iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスが、図により表示されます。ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

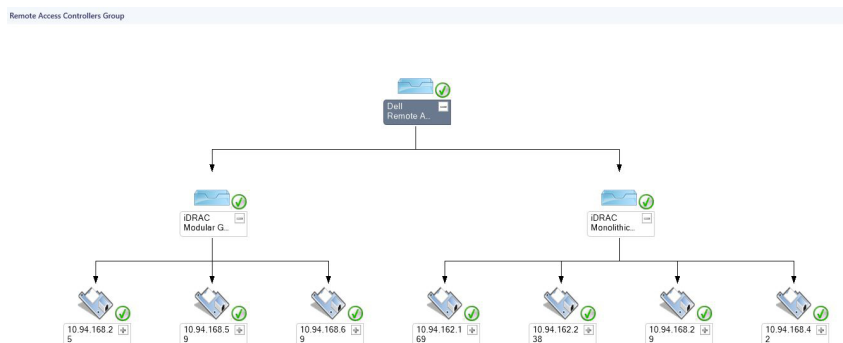


図 5. Remote Access Controller グループダイアグラム

状態ビュー

このビューは、Dell DRAC デバイスの正常性を表示するために使用できます。OpsMgr コンソールで、**Monitoring (監視) > Dell > State Views (状態ビュー) > DRAC** の順にクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理される各 Dell DRAC デバイスのステータスが表示されます。

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。**重要度レベルのインジケータ**では、各種状況コンポーネントについて説明します。状況コンポーネントは、それに対応する重要度レベルに対して、Dell EMC Server Management Pack Suite で使用されます。

DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

DRAC 監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 24. DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト	ユニット監視
iDRAC6 モジュール	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC6 モノリシック	
Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC7 モジュール	
① メモ: iDRAC7 モジュールおよびモノリシックサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。	

オブジェクト		ユニット監視
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC7 モニタリング		
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC8 モジュール		
①	メモ: iDRAC8 モジュールおよびモニタリングサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。	
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
iDRAC8 モニタリング		
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視

ルール

次の項には、Dell DRAC 監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite は、DRAC トラップのルールを処理します。

DRAC デバイス

DRAC デバイス向けのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 =「DRAC/CMC 名または ip」
- OID = DRAC /CMC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID

- データプロバイダ = SNMP トラップ

① | **メモ:** 情報アラートはデフォルトでオフになっています。これらのアラートを受け取るには、情報アラート管理パックをインポートします。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

DRAC を使用したタスクの実行

次の表に、DRAC を使用して実行されるタスクの概要を示します。

表 25. DRAC を使用したタスク

タスク	説明
ノードインタフェースのチェック	選択した Dell DRAC/iDRAC デバイスとそれに対応するインタフェースに対して SNMP が到達可能か到達不能かを確認します。
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。
Dell Remote Access Console の起動	検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。
Remote Desktop の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。 ① メモ: この機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 装備のシステムでのみ使用可能です。
Server Administrator の起動	Server Administrator が起動されます。 ① メモ: <ul style="list-style-type: none"> • Server Administrator コンソールは、デフォルトポートで Server Administrator が設定されている場合にのみ起動されます。 • この機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 装備のシステムでのみ使用可能です。

Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク

ノードインタフェースのチェック

Check Node Interfaces (ノードインタフェースのチェック) は、選択した Dell DRAC/iDRAC デバイスとそれに対応するインタフェースに対して SNMP が到達可能か到達不能かを確認するタスクです。

ノードインタフェースをチェックするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 Dell **Diagram Views (ダイアグラムビュー)** と **State Views (状態ビュー)** のいずれかで目的の Dell DRAC/iDRAC を選択するか、**Alerts Views (アラートビュー)** でアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Remote Access Controller Tasks (Dell Remote Access Controller タスク) > Check Node Interfaces (ノードインタフェースのチェック)** の順に選択します。

このタスクは、到達可能性チェックの概要を表示し、インタフェースについてはタスクが正常に完了してからチェックします。

Dell License Manager の起動

Dell License Manager の起動 タスクで、管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスの1対多のライセンス展開およびレポートを行うツールです。

① **メモ:** Dell License Manager がデフォルトパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager の起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** と移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク > Dell License Manager の起動** と選択します。

Dell Remote Access Console の起動

Dell システムに DRAC が搭載されている場合は、このタスクを使用して Dell Remote Access Console を起動することができます。

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク > Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

Remote Desktop の起動

① **メモ:**

- Remote Desktop 機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 搭載のシステムのみで使用可能です。
- Remote Desktop の起動は、管理ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** と移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク > リモートデスクトップの起動** と選択します。

OpenManage Server Administrator の起動

① メモ:

- OpenManage Server Administrator (OMSA) コンソールは、デフォルトポートで Server Administrator が設定されている場合にのみ起動されます。
- Server Administrator 機能は、iDRAC7 および iDRAC8 搭載のシステムのみで使用可能です。

Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** と移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**アラートビュー** でアラートを選択します。
- 3 **Tasks (タスク)** ペインで、**Dell Remote Access Controller Tasks (Dell Remote Access Controller タスク)** > **Launch Server Administrator (Server Administrator の起動)** の順に選択します。

シャーシ監視機能

シャーシ監視機能は、SNMP または WS-MAN プロトコルを使用して、PowerEdge FX2/FX2s シャーシ、PowerEdge VRTX シャーシ、PowerEdge M1000e シャーシ、および Dell OEM Ready シャーシ上の Chassis Management Controller (CMC) の検出と監視をサポートします。

シャーシ監視機能は、対応する OpsMgr の個々のシャーシコンポーネントの詳細監視もサポートします。

トピック：

- 検出とグループ化
- 監視
- シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視
- ルール
- タスク

検出とグループ化

Dell EMC Server Management Pack Suite により、Dell Chassis Management Controller (CMC)、PowerEdge FX2/FX2s、PowerEdge M1000e、および PowerEdge VRTX の検出と分類ができるようになります。

次の表は、シャーシ監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細の一覧です。

表 26. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell CMC	Dell Chassis Management Controller (CMC) グループ	ネットワーク上の CMC インスタンス、CMC のシャーシスロットサマリおよびサーバモジュール
Dell PowerEdge M1000e	Dell M1000e シャーシグループ	PowerEdge M1000e
Dell PowerEdge VRTX	Dell VRTX シャーシグループ	PowerEdge VRTX
Dell FX2	Dell FX2 シャーシグループ	PowerEdge FX2

シャーシデバイスの検出

シャーシデバイスは、OpsMgr コンソールの**管理**セクションでネットワークデバイスとして検出されます。

シャーシデバイスを検出するには、次の手順を行います。

- 1 OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
- 2 OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
- 3 ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。

- 4 検出ウィザードを実行し、ネットワークデバイスを選択して、画面上の指示に従います。

詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。

- ① **メモ:** シャーシデバイスの検出用に作成した Run As Account (Run As アカウント) を選択します。詳細については、『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 インストールガイド』 (dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement) の「Configuring Dell Chassis Management Controller feature for correlating Server modules with Chassis slot summary (サーバモジュールとシャーシスロットサマリを相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定)」の項を参照してください。

- 5 OpsMgr のデバイスコンソールの追加画面で、スキャンする IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 Run As アカウントドロップダウンボックスから適切な Run As アカウントを選択します。
- 6 Feature Management Dashboard を使用してシャーシ監視機能を有効にします。

シャーシ監視機能による検出

表 27. シャーシ監視機能での検出

検出オブジェクト	説明
Dell CMC 検出	サポート対象の Dell CMC、PowerEdge FX2、PowerEdge VRTX、PowerEdge M1000e、および Dell OEM Ready シャーシをすべて検出します。
Dell CMC スロット検出	CMC デバイス上のスロットを検出します。
Dell シャーシ詳細検出	Dell シャーシコンポーネントすべてを検出します。

監視

Dell EMC Server Management Pack Suite をインストールすると、OpsMgr の **Monitoring (監視)** ペインを使用して、検出された Dell CMC デバイスの完全な正常性情報を表示するビューを選択することができます。シャーシ監視機能は、Dell CMC デバイスの正常性を検出および監視します。**重要レベルのインジケータ**は、ネットワーク上の Dell CMC デバイスの正常性を示します。

シャーシ監視には、一定間隔およびイベント発生時の両方に対する Dell シャーシデバイスの正常性の監視が含まれます。

- ① **メモ:** シャーシの詳細監視を実行するには、Dell CMC へのアクセスに必要な WS-MAN 資格情報の Run As アカウントを、Dell モジュールシャーシクラスまたはそれぞれの CMC オブジェクト (CMC デバイスが複数あって、Run As アカウントもそれぞれ異なる場合) をターゲットとして、プロファイル (Dell CMC ログインアカウント Run As プロファイル) に関連付けます。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

① **メモ:**

- RACADM ユーティリティが存在しない場合、一部のインベントリ属性および正常性が使用できません。このため、RACADM ユーティリティのインストールを求める 1 回限りの警告アラートが生成されます。
- RACADM ユーティリティが存在しない場合、CMC グループ、CMC コンポーネント、IO モジュールコンポーネント、IO モジュールグループ、および電源装置グループコンポーネントが **警告** 状態になります。CMC グループ、CMC コンポーネント、IO モジュールコンポーネント、IO モジュールグループ、および電源装置グループコンポーネントを監視するには、RACADM ユーティリティを有効にします。

表 28. 監視対象ハードウェアコンポーネント — 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
CMC スロット情報	無	無
CMC スロット	無	無
ファングループ	無	有
ファン	無	有
IO モジュール	無	有
IO モジュールグループ	無	有
PCIe デバイスグループ	無	無
PCIe デバイス	無	無
電源装置グループ	無	有
電源装置	無	有
ストレージ	無	有
ストレージコントローラ	無	有
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	無	有
ストレージコントローラ仮想ディスク	無	有
ストレージコントローラ物理ディスクグループ	無	有
ストレージコントローラ物理ディスク	無	有
ストレージエンクロージャ	無	有

ビュー

Dell EMC Server Management Pack Suite は、OpsMgr コンソールの **Dell > Monitoring (監視)** で、監視用に次のタイプのビューを提供します。

- [アラートビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状態ビュー](#)

アラートビュー

このビューは、Dell CMC デバイスからのハードウェアイベントおよびストレージイベントの管理に使用します。シャーシデバイスが送信する SNMP トラップがシャーシ監視機能によって表示されます。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

OpsMgr コンソールでシャーシ監視アラートを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
- 2 **Dell > アラートビュー** とクリックします。

次の個別の **アラートビュー** が表示されます。

- **CMC Alerts (CMC アラート)** - 検出されたシャーシデバイスの SNMP トラップが表示されます。
- **Dell シャーシのアラートビュー**
 - **Dell FX2 Chassis Alerts (Dell FX2 シャーシアラート)** - 検出された PowerEdge FX2 シャーシデバイスの SNMP トラップが表示されます。
 - **Dell M1000e Chassis Alerts (Dell M1000e シャーシアラート)** - 検出された PowerEdge M1000e シャーシデバイスの SNMP トラップが表示されます。
 - **Dell VRTX Chassis Alerts (Dell VRTX シャーシアラート)** - 検出された PowerEdge VRTX シャーシデバイスの SNMP トラップが表示されます。

- 3 任意の **アラートビュー** を選択します。

各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。

- 4 **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

Diagram Views (ダイアグラムビュー) には、ネットワーク上にあるすべての Dell CMC デバイス、PowerEdge FX2、M1000e、および VRTX が、階層的な図により表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムの表示

OpsMgr コンソールでシャーシ監視機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**監視 > Dell > ダイアグラムビュー** とクリックします。
- 2 次のビューの **ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。

- **ダイアグラムビューを完了します。**
- **シャーシ管理コントローラグループ**
- **Dell シャーシダイアグラムビュー**
 - **Dell FX2 シャーシダイアグラムビュー**
 - **Dell M1000e シャーシダイアグラムビュー**
 - **Dell VRTX シャーシダイアグラムビュー**

- 3 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。

右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。

4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Chassis Management Controllers グループ

Chassis Management Controllers Group (Chassis Management Controllers グループ) ダイアグラムビューには、すべての Dell CMC、Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge M1000e、および Dell PowerEdge VRTX と、それらのインベントリが、図により表示されます。シャーシ検出については、「[シャーシデバイスの検出](#)」を参照してください。

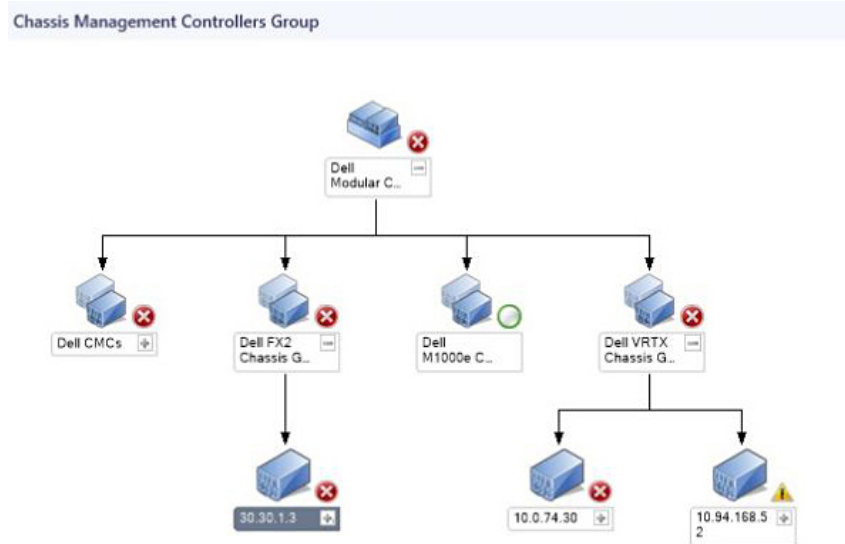


図 6. Chassis Management Controllers グループダイアグラム

検出された CMC シャーシについて、以下を表示するために、デフォルトで無効となっているスロット検出を有効にしてください。

- **Chassis Slots Summary (シャーシスロットサマリ)** 内の使用中および空きスロットのサマリ。
- **Diagram View (ダイアグラムビュー)** に反映された、CMC シャーシで変更済みのスロットインベントリの詳細。
- ライセンス対象またはライセンス不要の監視機能を使用する検出済み Dell サーバと、**Chassis Management Controllers Group (Chassis Management Controllers グループ)** ダイアグラムに表示されている CMC シャーシのサーバモジュールとの相関。Dell システムは、ダイアグラムのスロット下に表示されます。

① **メモ:** CMC スロット検出用の Run As Account (Run As アカウント) は、シンプル、ベーシック、またはダイジェスト認証のみで作成してください。詳細に関しては、『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 インストールガイド』(Dell.com/support/home) の「シャーシスロットサマリを使用した相関サーバモジュール用 Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。

① **メモ:** モジュラーシステムの iDRAC ファームウェアは、CMC ファームウェアとの互換性があるようにしてください。互換性がない場合、サービスタグが Not Available (該当なし) と表示され、シャーシブレード相関が不可能になる場合があります。

Dell シャーシダイアグラムビュー

Dell シャーシダイアグラムビューには、PowerEdge FX2、PowerEdge M1000e シャーシ、および PowerEdge VRTX シャーシデバイスが、図により表示されます。ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

パフォーマンスおよび電源監視ビュー

① **メモ:** Chassis Power Consumption (シャーシ電力消費量) ビューは、シャーシ監視機能の詳細機能がインストールされ、シャーシのパフォーマンスコレクションルールが有効な場合にのみ使用できます。デフォルトでは、Chassis Performance Collection (シャーシのパフォーマンスコレクション) ルールは Disabled (無効) に設定されています。このルールを有効にするには、「[シャーシのパフォーマンスコレクションルールの有効化](#)」を参照してください。

パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**Monitoring (監視)** をクリックします。
- 2 Monitoring (監視) ペインで、**Dell > Performance and Power Monitoring Views (パフォーマンスおよび電源監視ビュー)** の順にクリックして、次を表示します。
 - Chassis Power Consumption (シャーシ電力消費量)
- 3 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

状況ビュー

このビューは、Dell CMC デバイスの正常性を表示するために使用できます。OpsMgr コンソールで、**Monitoring (監視) > Dell > State Views (状態ビュー)** の順にクリックすると、ネットワーク上で OpsMgr によって管理される各 Dell デバイスのステータスが表示されます。

状態ビューを表示する Dell CMC グループを選択します。次のデバイスのステータスを表示することができます。

- CMC
- Dell シャーシ状態ビュー
 - Dell FX2 シャーシ状態ビュー
 - Dell M1000e シャーシ状態ビュー
 - Dell VRTX シャーシ状態ビュー

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。[重要度レベルのインジケータ](#)では、各種状況コンポーネントについて説明します。状況コンポーネントは、それに対応する重要度レベルに対して、Dell EMC Server Management Pack Suite で使用されます。

シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

シャーシ監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 29. シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト	ユニット監視
Dell CMC	
Dell CMC ステータス	イベントおよび定期的監視
Dell シャーシ正常性全般	

オブジェクト		ユニット監視
	Dell シャーシ正常性全般ユニット監視	イベントおよび定期的監視
Dell シャーシ I/O モジュール		
	Dell シャーシ I/O モジュール正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell モジュラーシャーシファン		
	Dell シャーシファン正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラーコントローラ		
	Dell シャーシ CMC 正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラーコントローラグループ		
	Dell シャーシ CMC グループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー電源装置		
	Dell シャーシ電源装置正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー電源装置グループ		
	Dell シャーシ電源装置グループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー PCIe デバイス		
	Dell シャーシ PCIe デバイス正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージエンクロージャ		
	Dell シャーシストレージエンクロージャ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラ		
	Dell シャーシストレージコントローラ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
	Dell シャーシストレージコントローラバッテリー正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラ仮想ディスク		
	Dell シャーシストレージ仮想ディスク正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラエンクロージャ内部物理ディスク		

オブジェクト	ユニット監視
Dell シャーシストレージ内部物理ディスクプライマリ正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージ内部物理ディスクの予測障害正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラエンクロージャ外部物理ディスク	
Dell シャーシストレージ外部物理ディスクプライマリ正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージ外部物理ディスクの予測障害正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的

ルール

次の項には、Dell シャーシ監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite は、シャーシトラップのルールを処理します。

シャーシデバイス

シャーシデバイス向けのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「DRAC/CMC 名または IP」
- OID = DRAC /CMC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップ

① **メモ:** 情報アラートはデフォルトでオフになっています。これらのアラートを受け取るには、情報アラート管理パックをインポートします。

パフォーマンスコレクションルール

OpsMgr コンソールで、**Monitoring (監視) > Dell > Performance and Power Monitoring Views (パフォーマンスおよび電源監視ビュー)** の順にクリックして、Dell シャーシから収集されたパフォーマンス情報を表示します。この機能はデフォルトで無効になっています。当該機能を有効にするには、「[シャーシのパフォーマンスコレクションルールの有効化](#)」を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールは、**Chassis Power Consumption (シャーシ電力消費量)** についての情報を収集します。

シャーシのパフォーマンスコレクションルールの有効化

シャーシのパフォーマンスコレクションルールを有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールを起動して、**Authoring (オーサリング)** をクリックします。
- 2 **Rules (ルール)** をクリックし、**Look for: (次を検索:)** フィールドで Dell Performance (Dell パフォーマンス) を検索します。
- 3 **Dell Performance: Chassis Power Consumption collection rule (Watts) (Dell パフォーマンス: シャーシ電力消費量コレクションルール (Watts))** を右クリックします。
- 4 **Overrides (上書き) > Override the Rule (ルールの上書き) > For all objects of class (クラスの全オブジェクト)** の順に選択します。
- 5 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
- 6 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択**: ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または **新規...** をクリックして新しい管理パックを作成します。

新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。

- a **新規...** をクリックします。
管理パックの作成 画面が表示されます。
- b **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
- c **作成** をクリックします。
宛先の管理パックの選択: ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
- d **適用** をクリックします。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

タスクサマリ

Dell シャーシを使用したタスクの実行

次の表に、Dell シャーシを使用して実行できるタスクの概要を示します。

表 30. Dell シャーシを使用したタスク

タスク	説明
ノードインタフェースのチェック	選択した Dell CMC デバイスとそれに対応するインタフェースに対して WS-MAN または SNMP が到達可能か到達不能かを確認します。
Dell CMC Console の起動	CMC コンソールを起動します。

Dell シャーシタスク

ノードインタフェースのチェック

Check Node Interfaces (ノードインタフェースのチェック) は、選択した Dell CMC デバイスとそれに対応するインタフェースへ到達可能か到達不能かを確認するタスクです。

ノードインタフェースをチェックするには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** に移動します。
- 2 Dell **Diagram Views** (ダイアグラムビュー) と **State Views** (状態ビュー) のいずれかで目的の Dell CMC を選択するか、**Alerts Views** (アラートビュー) でアラートを選択します。
- 3 **Tasks** (タスク) ペインで、**Dell CMC Tasks** (Dell CMC タスク) > **Check Node Interfaces** (ノードインタフェースのチェック) の順に選択します。

Dell CMC コンソールの起動

CMC コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソールで、Dell **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー**、または **アラートビュー** と移動します。
- 2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで CMC デバイスを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
- 3 **タスク** ペインで、**Dell CMC タスク** > **Dell CMC Console の起動** と選択します。

シャーシモジュラーサーバー関連機能

シャーシモジュラーサーバー関連機能は次をサポートします。

- シャーシスロットでライセンス対象またはライセンス不要の監視機能を使用して検出されたモジュラーサーバの相関。
 - ① **メモ:** CMC スロット検出はデフォルトで無効にされています。このため、相関機能を機能させるには CMC スロット検出を有効にします。
- シャーシ共有ストレージコンポーネントと Dell サーバーの相関。
 - ① **メモ:** シャーシ共有コンポーネントと Dell サーバーとの相関に、シャーシ詳細監視をインポートします。

シャーシモジュラーサーバー関連機能による検出

表 31. シャーシモジュラーサーバー関連機能検出

検出オブジェクト	説明
Dell CMC シャーシからモジュラーサーバーへの相関検出	CMC シャーシと Dell モジュラーシステムの相関関係を検出します。
Dell シャーシストレージからブレードサーバへの相関検出	サーバーおよびラック型ワークステーションの監視によって検出された Dell サーバーで、シャーシ共有コンポーネント間の相関関係を検出します。

Feature Management Dashboard

Feature Management Dashboard には、Dell サーバ、Dell Precision ラック、Dell Remote Access Controller (DRAC)、Dell PowerEdge FX2/FX2s、PowerEdge VRTX、PowerEdge M1000e、Integrated DRAC (iDRAC) など、さまざまな Dell システムを監視するための Dell EMC Server Management Pack Suite 監視機能を設定する仕組みが備わっています。Feature Management Dashboard には次の監視機能があります。

- サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能
- サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能
- DRAC 監視機能
- シャーシ監視機能
- シャーシモジュラーサーバ関連機能

トピック :

- [Dell Feature Management パックによる検出](#)
- [タスク](#)

Dell Feature Management パックによる検出

表 32. Dell Feature Management パックの検出

検出オブジェクト	説明
Dell Feature Management ホスト検出	管理サーバが機能管理パックのホストである場合、ダッシュボードにデータを投入します。Dell EMC Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバが、機能管理パックのホストとして選択されます。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

機能管理タスク

次の表は、**Feature Management Dashboard** で使用可能なタスクをリストします。機能管理タスクの表に記載されているタスクの一部は、特定の監視機能をインポートしてから表示されます。

① メモ:

- エラーログには、既存の管理パックの再インポートに関するエラーがありますが、無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に、それより前にインポートされていて依存関係にあるすべての管理パックが **Feature Management Dashboard** によって再インポートされた場合に発生します。
- Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。
- ダッシュボードの更新** タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかります。

表 33. 機能管理タスク

タスク	説明
シャーシモジュラーサーバー相関	
シャーシモジュラーサーバー相関機能のインポート	シャーシモジュラーサーバー相関機能をインポートします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
シャーシモジュラーサーバー相関機能の削除	シャーシモジュラーサーバー相関監視機能を削除します。
シャーシモジュラーサーバー相関機能のアップグレード	シャーシモジュラーサーバー相関機能の最新バージョンにアップグレードします。
シャーシ監視	
シャーシ監視詳細機能のインポート	シャーシ詳細監視機能をインポートします。
シャーシ監視拡張可能機能のインポート	シャーシ拡張可能監視機能をインポートします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
シャーシ監視機能の削除	シャーシ監視機能 (拡張可能監視機能および詳細監視機能の両方) を削除します。
シャーシ詳細監視機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
シャーシ拡張可能監視機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
DRAC 監視	
DRAC 監視機能のインポート	DRAC 監視機能をインポートします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
DRAC 監視機能の削除	DRAC 監視機能を削除します。
DRAC 監視機能のアップグレード	DRAC 監視機能の最新バージョンにアップグレードします。

タスク	説明
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視	
エージェントプロキシの有効化	Dell サーバーに対するエージェントプロキシを有効にします。
詳細機能のインポート	サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能の詳細機能をインポートします。
拡張可能機能のインポート	サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能の拡張可能機能をインポートします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。
監視機能の削除	サーバーおよびラック型ワークステーションの監視機能を削除します。
優先監視方法として設定	サーバおよびラック型ワークステーションのセットアップで、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能とサーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能の両方から監視されるようになっている場合、このタスクでは、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能の方をお使いのサーバおよびラック型ワークステーションに対して優先される監視方法として有効にします。
情報アラートをオフに設定	サーバーおよびラック型ワークステーションの拡張可能監視の使用時に、情報アラートがオフになります。
情報アラートをオンに設定	サーバーおよびラック型ワークステーションの拡張可能監視の使用時に、情報アラートがオンになります。
詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
サーバーおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）	
Run-As アカウントの関連付け	このタスクは、SMASH 検出に使用される Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell サーバオブジェクトに関連付けます。詳細については、「 Associate Run As-Account task (Run As アカウントの関連付けタスク) 」を参照してください。
エージェントプロキシの有効化	対応する iSM バージョンを実行している Dell サーバー用のエージェントプロキシを有効にし、これらのサーバーの検出も始動させます。
Enable Event Auto-Resolution (イベントの自動解決の有効化)	Event Auto-Resolution(イベントの自動解決)機能を有効にします。
Disable Event Auto-Resolution (イベントの自動解決の無効)	Event Auto-Resolution(イベントの自動解決)機能を無効にします。
ダッシュボードの更新	Feature Management Dashboard を更新します。
ノード数の更新	ノード数を更新します。

タスク	説明
監視機能（ライセンス対象）の削除	サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能を削除します。
優先監視方法（ライセンス対象）として設定	サーバおよびラック型ワークステーションのセットアップで、サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能とサーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能の両方から監視されるようになっている場合、このタスクでは、サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能の方を、お使いのサーバおよびラック型ワークステーションに対して優先される監視方法として有効にします。
詳細機能（ライセンス対象）への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
拡張可能機能（ライセンス対象）への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。

Dell EMC Server Management Pack Suite のライセンス

ライセンス情報

OpsMgr 用の Dell EMC Server Management Pack Suite のサーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能は、ライセンス対象機能です。ソフトウェアライセンスの取得手順についての情報は、次のとおりです。

ライセンス

ライセンスは、監視するノード数に基づいて購入する必要があります。

ライセンスの購入

サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能を利用するには、ライセンス（目的的管理ノード数に基づく）を Dell から購入する必要があります。注文の確認とライセンスは、「マイアカウント」-「デル」で指定した電子メール ID に電子メールで送付されます。購入したライセンスは、Dell Digital Locker ポータル（<http://www.dell.com/support/licensing>）からダウンロードすることもできます。ライセンスをダウンロードできない場合は、www.dell.com/support/incidents-online/in/en/indhs1/email/order-support にアクセスのうえ、Dell カスタマーサポートまで電子メールにてお問い合わせください。

ライセンスの使用状況の確認

コンソールでは PowerEdge サーバを管理するためのライセンスが必要です。OpsMgr 用のサーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能によって管理される PowerEdge サーバを表示するには、OpsMgr で **Monitoring（監視） > Dell（デル） > Feature Management Dashboard（機能管理ダッシュボード）** を選択します。

使用されているノード数が、**ノードの合計数** 列に表示されます。

OpsMgr 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 からの変更

OpsMgr 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 までは、ライセンスの管理には Dell Connections License Manager（DCLM）が必要でした。Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 以降は、DCLM は不要になりました。

DCLM が削除されると、ライセンス数の強制はなくなります。Dell から購入したライセンス数の制限に達したり超過したりしても、OpsMgr 用のサーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能を使用すると、引き続き PowerEdge サーバを管理できます。**Checking License Usage（ライセンスの使用状況の確認）** セクションには、管理されているノード数を確認する手順が表示され、Dell Inc. から付与された適切なライセンス数を所有しているようになります。管理しているノード数が購入したライセンス数を超過した場合は、ライセンスを購入して追加してください。

OpsMgr 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 用に購入したライセンスは、OpsMgr 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 以降に対しても有効です。製品がアップグレードされた後、以前のライセンスは有効で、以前購入したライセンスで規定された許容数までサーバを管理できます。

ライセンスの使用条件

ライセンスは、製品 EULA と同じライセンス条件で規定されています。更新された最新のライセンス条件は、dell.com/learn/us/en/uscorp1/terms?s=corp から取得できます。ご質問は、Dell Sales and Support までご連絡ください。

関連文書とリソース

本章では、Dell EMC Server Management Pack Suite での作業に役立つ文書および参考資料に関する詳細を説明します。

トピック：

- Operations Manager のためのパフォーマンスと拡張性に関するマイクロソフトガイドライン
- その他の必要マニュアル
- デルサポートサイトからの文書へのアクセス
- デルへのお問い合わせ

Operations Manager のためのパフォーマンスと拡張性に関するマイクロソフトガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Server Management Pack Suite を展開します。

拡張性に関するマイクロソフトの推奨については、マイクロソフトのウェブサイト technet.microsoft.com を参照してください。

① **メモ:** パフォーマンス向上のため、Operations Manager データウェアハウス、および / またはデータベースで Autogrow オプションが有効化されていることを確認してください。

その他の必要マニュアル

本ユーザーズガイドの他、dell.com/support/home から入手可能な次のガイドを参照する必要がある場合もあります。

- *Integrated Dell Remote Access Controller with Lifecycle Controller User's Guide (Integrated Dell Remote Access Controller with Lifecycle Controller ユーザーズガイド)*
- *iDRAC Service Module Installation Guide (iDRAC Service Module インストールガイド)*
- *Dell OpenManage Installation and Security User's Guide (Dell OpenManage Installation and Security ユーザーズガイド)*
- *Dell OpenManage Server Administrator Installation Guide (Dell OpenManage Server Administrator インストールガイド)*
- *Dell OpenManage Server Administrator Compatibility Guide (Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド)*
- *Dell OpenManage Server Administrator CIM Reference Guide (Dell OpenManage Server Administrator CIM リファレンスガイド)*
- *Dell OpenManage Server Administrator Messages Reference Guide (Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド)*
- *Dell OpenManage Server Administrator Command Line Interface User's Guide (Dell OpenManage Server Administrator コマンドラインインタフェースユーザーズガイド)*
- *Dell OpenManage Baseboard Management Controller Utilities User's Guide (Dell OpenManage ベースボードマネジメントコントローラユーティリティユーザーズガイド)*
- *Dell OpenManage Port Information Guide (Dell OpenManage ポート情報ガイド)*
- *Dell Lifecycle Controller User's Guide (Dell Lifecycle Controller ユーザーズガイド)*
- *Dell Chassis Management Controller User's Guide (Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド)*
- *Dell Chassis Management Controller for Dell PowerEdge VRTX User's Guide (Dell PowerEdge VRTX 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド)*

- *Dell Chassis Management Controller for Dell PowerEdge FX2 User's Guide (Dell PowerEdge FX2 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド)*

『Dell Systems Management Tools and Documentation』DVD には、Server Administrator のリリースノートファイルおよびこの DVD に含まれるその他のシステム管理ソフトウェアアプリケーションのリリースノートファイルが収録されています。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

デルサポートサイトから文書にアクセスするには、次の手順を実行します。

- 1 dell.com/support/manuals にアクセスします。
- 2 **サービスタグまたはエクスプレスサービスコードをお持ちですか?** セクションの **いいえ** で **すべてのデル製品のリストから選択する** を選択し、**続行** をクリックします。
- 3 **お使いの製品タイプを選択してください** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
- 4 **お使いのデル製システムを選択してください - Software** セクションで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **クライアントシステム管理**
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
- 5 マニュアルを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。

① **メモ:** または、次のリンクを使用してマニュアルに直接アクセスすることもできます。

- エンタープライズシステム管理マニュアル — dell.com/openmanagemanuals
- リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — dell.com/esmmanuals
- Serviceability Tools マニュアル — dell.com/serviceabilitytools
- クライアントシステム管理マニュアル — dell.com/OMConnectionsClient
- OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル — dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
- OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル — dell.com/OMConnectionsClient

デルへのお問い合わせ

① **メモ:** アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。

デルでは、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 dell.com/support にアクセスします。
- 2 サポートカテゴリを選択します。
- 3 ページの上部にある **Choose a Country/Region (国 / 地域の選択)** ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
- 4 目的のサービスまたはサポートを選択します。

付録 A - 問題とその解決

問題と解決策

次の表は、既知の問題、解決策、および問題の対象の一覧です。

表 34. 問題と解決策

問題	解決策	対象
<p>管理下ノードが Windows Server 2008 R2 を実行している場合や、管理サーバーが OpsMgr 2012 R2 を実行している場合は、WMI を使用した iSM からの検出に失敗する。</p>	<p>Windows Management Framework バージョン 4.0 がインストールされていることを確認します。</p> <p>管理サーバーで、System Center 2012 R2 Operations Manager に、アップデートロールアップ 7 (またはそれ以降) の Microsoft セキュリティのアップデートを適用します。詳細に関しては、Support.microsoft.com を参照してください。</p> <p>Catalog.update.microsoft.com から次のアップデートをインストールできます。次に示す表示順に、次のアップデートをインストールするようにしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Microsoft System Center 2012 R2 - Operations Manager サーバー用アップデートロールアップ 2 Microsoft System Center 2012 R2 - Operations Manager コンソール用アップデートロールアップ <p>Windows Server 2008 R2 オペレーティングシステムを実行しているサーバーを検出します。</p>	<p>サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能</p> <p>これは WMI を使用した ASM での検出にのみ関連する問題です。</p>
<p>Set as the Preferred Monitoring Method (優先監視方法として設定) タスクで、次のシナリオのいずれかまたは両方で、重複するオブジェクトの削除に失敗する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dell モジュラーサーバーとシャーシスロットとの相関 • FM サーバーの監視 	<p>重複するオブジェクトを削除するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Feature Management Dashboard に移動して、Chassis Modular Server Correlation (シャーシモジュラーサーバ相関) 機能を選択してから、右ペインの Dell Monitoring Feature Tasks (Dell 監視機能タスク) メニューから Remove Chassis Modular Server Correlation Feature (シャーシモジュラーサーバ相関機能の削除) をクリックします。Chassis Modular Server Correlation (シャーシモジュラーサーバ相関) を再インポートします。これで、Set as Preferred Monitoring Method (優先監視方法として設定) タスク機能を使用して、重複するオブジェクトを削除することができます。 	<p>シャーシモジュラーサーバ相関機能</p>

問題	解決策	対象
	<p>2 それでもタスクが失敗する場合は、次の手順を実行します。</p> <p>a Dell CMC Chassis to the Modular Blade Server Correlation Discovery (Dell CMC シャーシからモジュラーブレードサーバへの相関検出) のオブジェクト検出を無効にします。</p> <p>b モジュラーサーバの検出に使用する方法に対応するオブジェクト検出を無効にします。例えば、重複オブジェクトが OMSA によって検出された場合は、Authoring (オーサリング) > Object Discoveries (オブジェクト検出) に移動して、Windows Computer でターゲットとする Dell Server Discovery を検索し、そのオブジェクトの Discovery (検出) 属性を無効にします。</p> <p>① メモ: FM サーバー用に重複するオブジェクトが作成された場合は、FM サーバーの次のオブジェクト検出を無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dell FM Server Agent-based Discovery • Dell FM Server Agent-free Discovery • Dell FM Server iSM Discovery <p>3 Operations Manager シェル から次のコマンドを実行します。</p> <pre>Remove-SCOMDisabledClassInstance</pre> <p>① メモ: この手順の完了までに、最大 48 時間かかる場合があります。</p>	
<p>Agent proxy not enabled (エージェントプロキシが有効ではありません) アラートが、iSM によって検出される Dell サーバの Active Alerts (アクティブなアラート) リストに表示されます。</p>	<p>この問題を解決するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Feature Management Dashboard に移動して、サーバおよびラック型ワークステーションの監視(ライセンス対象)をクリックします。 2 右のペインで、Dell 監視機能タスク の エージェントプロキシの有効化 をクリックします。 タスクの実行 - エージェントプロキシの有効化 ウィンドウが表示されます。 3 上書き をクリックして、警告 / エラーの自動解決 パラメータの [新しい値] の下のフィールドをクリックし、その値を True として設定します。 4 [上書き] をクリックして、実行 をクリックします。 5 [タスクステータス] ウィンドウを閉じます。 	<p>サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能</p>

問題	解決策	対象
	アクティブなアラートのリストから既存のアラートをクリアします。クリアしたアラートは今後の検出では表示されなくなります。	
Dell ネットワークデバイス用の ダイアグラムビュー で、Dell DRAC およびシャーシオブジェクトの基本属性が表示されない。	この問題を解決するため、 状態ビュー でオブジェクトをクリックすることにより、詳細な属性一連を表示することができます。	シャーシ監視機能
サーバーモジュールおよびシャーシスロットサマリ情報が CMC に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • CMC を管理する管理サーバーに OpenManage Server Administrator (OMSA) または DRAC ツールがインストールされていることを確認します。 • CMC デバイスに Run As アカウント が設定されており、「Dell CMC ログインアカウント」と関連付けられていることを確認します。 • Dell CMC スロット検出 およびルールが、OpsMgr コンソールの オーサリングペイン から有効化されていることを確認します。 	シャーシ監視機能
Add/Remove Programs (プログラムの追加と削除) または Uninstall or change a program (プログラムのアンインストールと変更) ウィンドウで Dell EMC Server Management Pack Suite の Repair (修復) オプションを実行している間にエラーが発生する。	インストーラの Repair (修復) オプションを使用してください。詳細については、『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 インストールガイド』の「インストーラの修復オプションの使用」の項を参照してください。	Dell EMC Server Management Pack Suite
シャーシの検出中に応答の遅延が発生した場合は、デバイスからの最新情報がアップデートされない、スクリプトタイムアウトエラーが生成される、または一時フォルダ内のログファイルがクリアされません。	応答の遅延が発生している CMC デバイスの Override Properties (上書きプロパティ) 画面で Script Timeout (スクリプトタイムアウト) の値を大きくしてください。 Overrides (上書き) の詳細については、 Technet.microsoft.com にある OpsMgr のマニュアルを参照してください。	シャーシ監視機能
Feature Management ホストサーバーの正常性サービスがダウンしています。	<p>選択した管理サーバーの動作が停止した場合は、実行されている機能管理タスクが失敗します。選択した当該管理サーバーが破損している、正常性サービスが取得されない、といった場合は、管理サーバーを廃棄し、古くなったオブジェクトを削除します。詳細については、Technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx を参照してください。</p> <p>残りの管理サーバーから管理サーバーを選択して、機能管理ホスト検出の FMPHostFQDN を上書きします。</p>	Dell EMC Server Management Pack Suite
コンソールの 監視 > アラートビュー > サーバーアラート に Dell OM : サーバーおよびそのコンポーネントの正常性計算に失敗 アラートが表示されます。	Run As Account (Run As アカウント) を Dell サーバの監視用に手動で関連付けます。詳細については、「 サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能を使用した Dell サーバ監視のための Run As アカウントの関連付け 」を参照してください。	サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能

既知の制限

表 35. 既知の制限

制限	対象
Dell MP, Power Control, and LED (Dell MP、電源制御、および LED) タスクは、デフォルトの資格情報のみを使用します。Authoring(オーサリング) ペインで新しいタスクを作成して表示すると、指定したユーザー名とパスワードを確認できます。資格情報は、タスク表示時に非表示にはなりません。	Dell EMC Server Management Pack Suite
正常性エクスプローラの使用中、Dell EMC Server Management Pack Suite (センサーおよび OpenManage Services インスタンスの下) のユニット監視には、サブインスタンスが存在しなくても緑色ステータスが表示されるものがあります。これは、ターゲットクラスが存在し、ユニット監視が実行されたときに、ユニット監視が使用不可状態になることができないためです。	Dell EMC Server Management Pack Suite
センサーのイントルージョンユニットモニタのステータスは、シャーシのみの状態を示すものであり、ベゼルイントルージョンの正常性は含まれていません。	Dell EMC Server Management Pack Suite

シンプル認証 Run As アカウントの作成

- 1 OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr にログインします。
- 2 OpsMgr コンソールで、**管理** をクリックします。
- 3 **Run As 設定 > アカウント** とクリックします。
- 4 **アカウント** を右クリックして、**Run As アカウントの作成** をクリックします。
Run As アカウントの作成ウィザード 画面が表示されます。
- 5 **次へ** をクリックします。
- 6 **Run As アカウントタイプ**：ドロップダウンメニューから、**シンプル認証** を選択します。
- 7 **表示名**：テキストボックスに表示名を入力します。
- 8 **説明 (オプション)**：テキストボックスに短い説明を入力して、**次へ** をクリックします。
- 9 **資格情報** 画面で、サーバーおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能を使用して検出するシステムの iDRAC ログイン資格情報を入力します。
- 10 **次へ** をクリックします。
- 11 必要に応じて **低セキュリティ** または **高セキュリティ** オプションを選択します。
詳細に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh321655.aspx の OpsMgr マニュアルを参照してください。

① **メモ**: iDRAC ログイン資格情報がシステムごとに異なる場合、それぞれに個別の Run As アカウントを作成します。

- 12 **作成** をクリックします。
- 13 **Run As アカウント** が作成されたら、**閉じる** をクリックします。

サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能を使用した Dell サーバー監視のための Run As アカウントの関連付け

Dell サーバーを監視するには、そのサーバーを検出するために使用された **Run As アカウント** を **SMASH デバイス監視プロファイル内の Dell サーバー** と関連付ける必要があります。管理パックは関連付けを自動で実行しますが、Run As アカウントを手動で関連付けする必要がある場合もあります。SMASH デバイス監視プロファイル内で Run As アカウントを手動で関連付けるには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr を起動して、**管理** をクリックします。
- 2 **管理** ペインで、**Run As 設定 > プロファイル** と移動します。
- 3 使用可能なプロファイルのリストから、**SNMP デバイス監視プロファイル** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
はじめに 画面が表示されます。
- 4 **次へ** をクリックします。
Run As プロファイルの一般プロパティの指定 画面が表示されます。
- 5 **次へ** をクリックします。
Run As アカウント 画面が表示されます。
- 6 **追加** をクリックします。

Run As アカウントの追加 画面が表示されます。

7 **Run As アカウント** : ドロップダウンリストから、Dell サーバーの検出に使用した Run As アカウントを選択します。

① **メモ:** デバイスの検出に複数の Run As アカウントを使用している場合は、各デバイスをそれに関連する Run As アカウントに関連付けます。

8 **選択したクラス、グループ、またはオブジェクト** をクリックして、SMASH 監視プロファイル でサーバーの関連付けを追加します。

- **選択** > **クラス** オプションをクリックし、選択に **Dell サーバー** を使用します。
- **選択** > **グループ** オプションをクリックし、選択に Dell サーバーオブジェクトを含むグループを使用します。
- **選択** > **オブジェクト** オプションをクリックし、選択に個々の Dell サーバーオブジェクトを使用します。

9 **OK** をクリックします。






10 **保存** および **閉じる** をクリックします。

① **メモ:** Run As アカウントの関連付けが正常に行われなかった場合、コンソールの **監視 > アラートビュー > サーバーアラート** に **Dell OM: サーバー** およびそのコンポーネントの正常性の計算に失敗というアラートが表示されます。

重要度レベルのインジケータ

以下の表は、OpsMgr コンソールにおける検出された Dell デバイスの重要度を示すアイコンをリストしています。

表 36. 重要度レベルのインジケータ

アイコン	重大度レベル
	正常 / OK — コンポーネントは正常に動作しています。
	警告 / 非重要 — プローブまたはその他の監視デバイスが、許容レベル以上または以下の読み取り値のコンポーネントを検出しました。コンポーネントが引き続き動作している場合もありますが、故障する可能性があります。正常な機能が損なわれた状態でコンポーネントが動作している可能性もあります。
	重要 / 障害 / エラー — コンポーネントが故障しているか、故障が差し迫った状態です。コンポーネントに対して迅速な対応が必要で、交換が必要な場合もあります。データ損失が発生している可能性があります。
	正常性ステータスは、特定のコンポーネントには適用されません。
	サービスを利用できません。

Run As アカウントの関連付けタスク — サーバーおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能

Run As アカウントの関連付けタスクでは、SMASH 検出で使用した Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell サーバーオブジェクトに関連付けます。このタスクは、オブジェクトレベルの関連付けを実行するオプションとして使用できます。

⚠ **警告:** Run As アカウントの関連付けタスクは、必要な場合のみ実行してください。このタスクは、すべての Dell サーバーオブジェクトの設定に影響します。Dell サーバー Run As アカウント関連ユニット監視は、オブジェクトレベルの関連付けを自動的に実行します。

付録 C - 外部プログラムの有効化タスク

Dell EMC Server Management Pack Suite によって提供される、外部プログラムを起動するタスクは、デフォルトの場所にインストールされる必要があります。プログラムがデフォルトの場所にインストールされていない場合は、アプリケーションを起動する新しいタスクを作成します。

トピック：

- アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成
- License Manager 起動タスクの作成

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクは、デフォルトの BMC 資格情報とインストールパス (C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc) を使用します。

システムがデフォルトの BMC 資格情報とインストールパスを使用しない場合は、管理サーバー上に BMU 2.0 以降をインストールして、新しいコンソールタスクを作成します。

△ 注意: 次の手順では、タスクを作成して、プレーンテキストでパスワードを設定する必要があります。BMC が管理サーバーにインストールされていない場合は、OpsMgr コンソールがダイアログボックス内にコマンド全体とエラーを表示し、パスワードを明らかにすることがあります。このタスクを含む作成済み上書き管理パックをディスクにエクスポートすると、エクスポートされた管理パックを一般的なテキストエディタ、または OpsMgr オーサリングコンソールで開き、パスワードをプレーンテキストで表示することができます。新しいタスクの作成は必要不可欠な場合にのみ行い、続行する前にセキュリティ面を考慮してください。

タスクを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 OpsMgr コンソール を起動して、**オーサリング** をクリックします。
- 2 **オーサリング** ペインで **管理パックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
タスクの作成ウィザード 画面が表示されます。
- 3 **タスクタイプの選択** 画面で、**コンソールタスク** にある **コマンドライン** を選択します。
- 4 宛先の管理パックを選択し、**次へ** をクリックします。
- 5 **タスク名** および **説明** を入力し、**タスクターゲット** として **Dell Windows サーバー** を選択して、**次へ** をクリックします。
コマンドライン 画面が表示されます。
- 6 **アプリケーション** フィールドに **ipmitool.exe** アプリケーションのパス (管理サーバー上で BMU がインストールされている場所へのパス) を入力します。
例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmitool.exe となります。2 つの LED 識別タスクの場合、アプリケーションパスは C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmish.exe です (デフォルトの BMU パスは、オペレーティングシステム言語に応じて異なる場合があります)。
- 7 電源制御タスクの場合、**パラメータ** フィールドに次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -I lanplus -H と入力し、ドロップダウンメニューから **IPMI 機能を伴うリモートアクセス IP** を選択します。
 - -U <username> -P <password> -k <kgkey> <IPMI Task String> と入力します。
 - <IPMI Task String> を次のいずれかのオプションと置き換えます。
 - power status (**電源ステータスの確認** タスクの場合)

- power on (**電源オン** タスクの場合)
- power soft (**正常電源オフ** タスクの場合)
- power off (**強制電源オフ** タスクの場合)
- power cycle (**パワーサイクル** タスクの場合)
- power reset (**電源リセット** タスクの場合)
- identify on (**LED 識別表示オン** タスクの場合)
- identify off (**LED 識別表示オフ** タスクの場合)

例 :

```
-I lanplus -H $Target/Property[Type="Dell.WindowsServer.Server"]/RemoteAccessIP$ -U root -P
<password> -k <kgkey> power status
```

- LED のオン / オフのタスクについては、次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -ip と入力し、ドロップダウンメニューから the **IPMI 機能でのリモートアクセス IP** を選択します。
 - -u <username> -p <password> -k <kgkey> <IPMI task string>. と入力します。
- 作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい BMC タスクごとに、この手順を繰り返します。

License Manager 起動タスクの作成

License Manager 起動タスクは、変更不可のデフォルト Dell License Manager(DLM)インストールパス(%PROGRAMFILES(X86)%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe または %PROGRAMFILES%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe) を使用します。

システムがこれらを使用していない場合、管理サーバーに DLM をインストールして、**Dell サーバー用 DLM** でターゲットされる **オーサリング** ペインで新しいコンソールタスクを作成します。

タスクを作成するには、次の手順を実行します。

- OpsMgr コンソールを起動して、**Authoring (オーサリング)** をクリックします。
- オーサリング** ペインで **管理バックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
- Task Type (タスクタイプ)** 画面で、**Console Tasks (コンソールタスク)** にある **Command line (コマンドライン)** を選択します。
- 宛先の管理パックを選択し、**Next (次へ)** をクリックします。
- Task name (タスク名)** および **Description (説明)** を入力し、**Task Target (タスクターゲット)** を次のいずれかに設定します。
 - Dell Windows サーバ - サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能向け
 - Dell サーバ - サーバおよびラック型ワークステーションの監視 (ライセンス対象) 機能向け
 - Dell iDRAC7 または iDRAC8 (DRAC 監視向け)
- Next (次へ)** をクリックします。
Command Line (コマンドライン) 画面が表示されます。
- Application (アプリケーション)** フィールドに、アプリケーションのパス *Dell.DlmUI.exe* (管理サーバ上で DLM がインストールされている場所へのパス) を入力します。
例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe と入力します(デフォルトの DLM パスは、オペレーティングシステムの言語に応じて異なる場合があります)。
- Create (作成)** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい DLM タスクごとに、この手順を繰り返します。